天長節

愛國婦人

祝詞

天の日の影うらゝかなる今日の生日の足日はかしこくも、我が大君の生れ出でさせ給ひし天長節の嘉辰なり。恭しく惟みるに文久慶應の騒がしかりし世の名殘未だ收まらざりし時に天つ日繼の大御位を受けつがせ給ひしよりこのかた皇祖皇宗の大御法に本づかせ給ひて、諸の事を掟てたまひ、八紘を蓋ふ大御心より、萬の國々との交はりを厚うせられ、惡しきを捨て善きに赴け、日々に新なる大御政を敷かせたまふ。されば大稜威は、年々にかゝやきて、いまや帝國の名聲は世界至るところにうたはれぬはなく日章の御旗は、天下いつこの隈にか靡かぬ處やある。

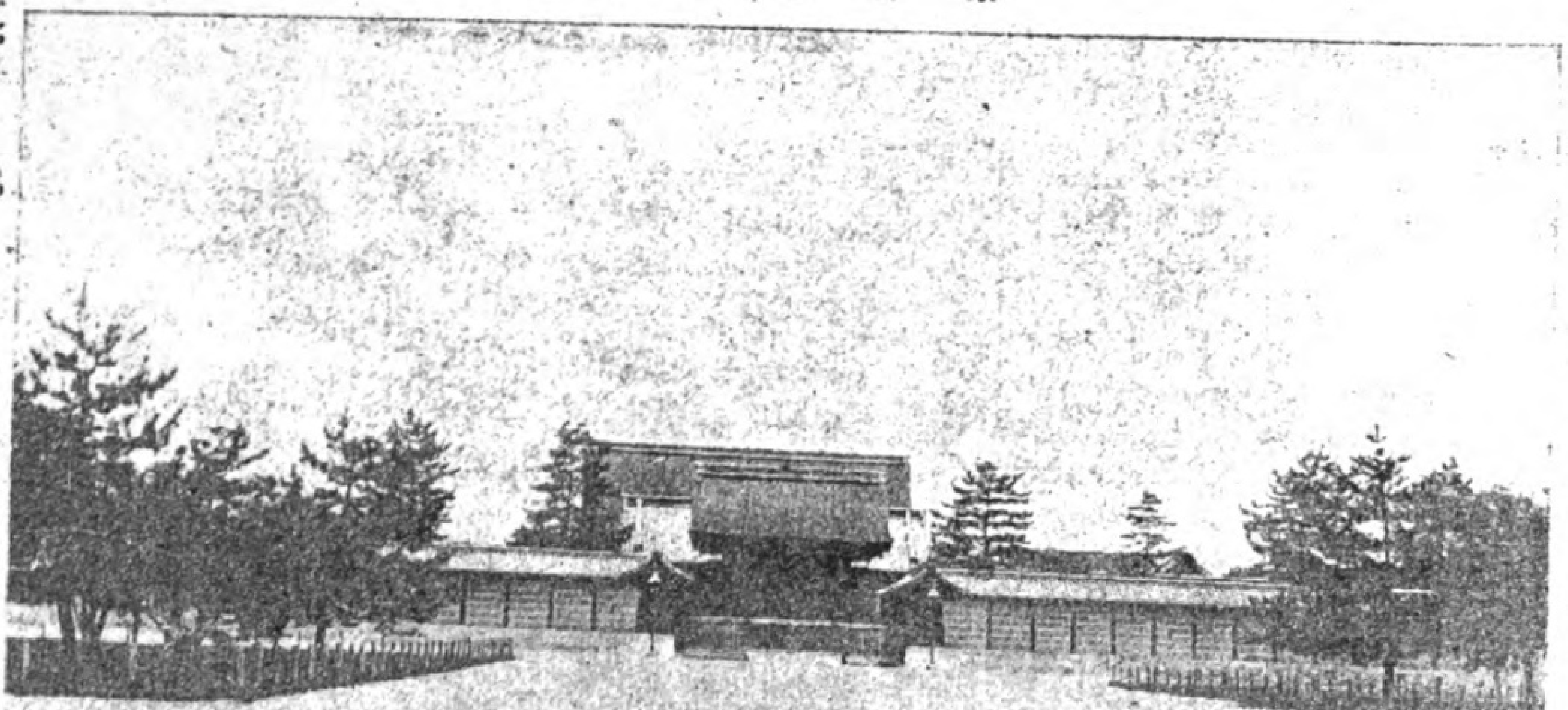
凡そ本清くして、末澄まさるはなく、末澄みて本の濁れるはあらず。恭しく惟みるに、我が大御國は、開闢の初より、人倫道德の教へ備はり、人ごころ清く赤く直く正しく、風俗亂れず禮讓整ひ、以て天壤无究一系連綿の皇室を戴き、君は君として下を治めたまひ、臣は臣として上に仕へ奉れり。世界に國は多かれども、かくのごとくして、今や我が國は、列國の摸範國とも、たゝへらるゝに至れり。

衣服の美、建築の美、道路の美、さては工業商業農業の發達はいふも更なり、國を守る陸海の軍備など、そのかたち、その計らひなどこそ、萬の國の良きをも採れ、開闢以來おのづから備はれる清き赤き直き正しき大和心に本づかすて、いかでかくばかり美はしく、かくばかり整ひ備はるべき。

恭しく惟みるに、皇祖皇宗、夙に印度支那朝鮮等のよきを採りて、我が文明を補ひ成さしめられしが、今は萬の國より、良きを選びて、我が物とするのみか、反てそが上に出て、印度支那のごときは我より之を扶け補ひ、朝鮮のごときは、我に併せて導くことゝなりぬ。これその本清き國民のおのづからなる性の成りとゝのひたるものと雖も、今の大君の一向に精を勵まし治を圖り、萬國の交りを厚うして、汎く智識を世界に求めしめたまふ大御心に則りたる故ならずはあらず。

ことし明治四十四年十一月は、實に六十年を數へ奉る天長節にして、この間に於る大御國の進歩の著しかりしことは、過去いづれの朝にか見得べき。世界いづれの國にか例を求め得べき。我等愛國婦人の友、けふの生日の足日に逢ひ奉りて、感慨きはまり、いふところを知らず。たゞ紅葉の赤きと、白菊の清き操とをさゝげて、遙に雲上の大御光を仰ぎ奉り、かしこみ奉りてたゝへことを竟へまつるになむ。

京都御所



本號目次

▲祝詞
▲天長節と國民教育……井上博士
▲老子の三寶（二）……南條博士
▲教育に關する勅話（一〇）……泰政二郎
▲離婚の研究（中）……永井早大教授
▲戰國時代の女（上）……岡部學士
▲講話……奥村敏子
▲腹式呼吸の話（二）……二木博士
▲小兒の齒の養生（上）……大久保ドクトル
▲箏曲評釋松の下風（卅一）……池邊京大講師
▲菊の話……伊藤博士
▲菊の歌……佐々木博士
▲家庭と地理的智識……三巻生
▲千葉名所（下）……照月（投）
▲其他家庭育兒の實驗、和歌、俳句、時事解説等
▲外に愛國婦人會々報二頁

●本紙（附錄共）二十ページ

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座東京壹壹三八壹番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内真三

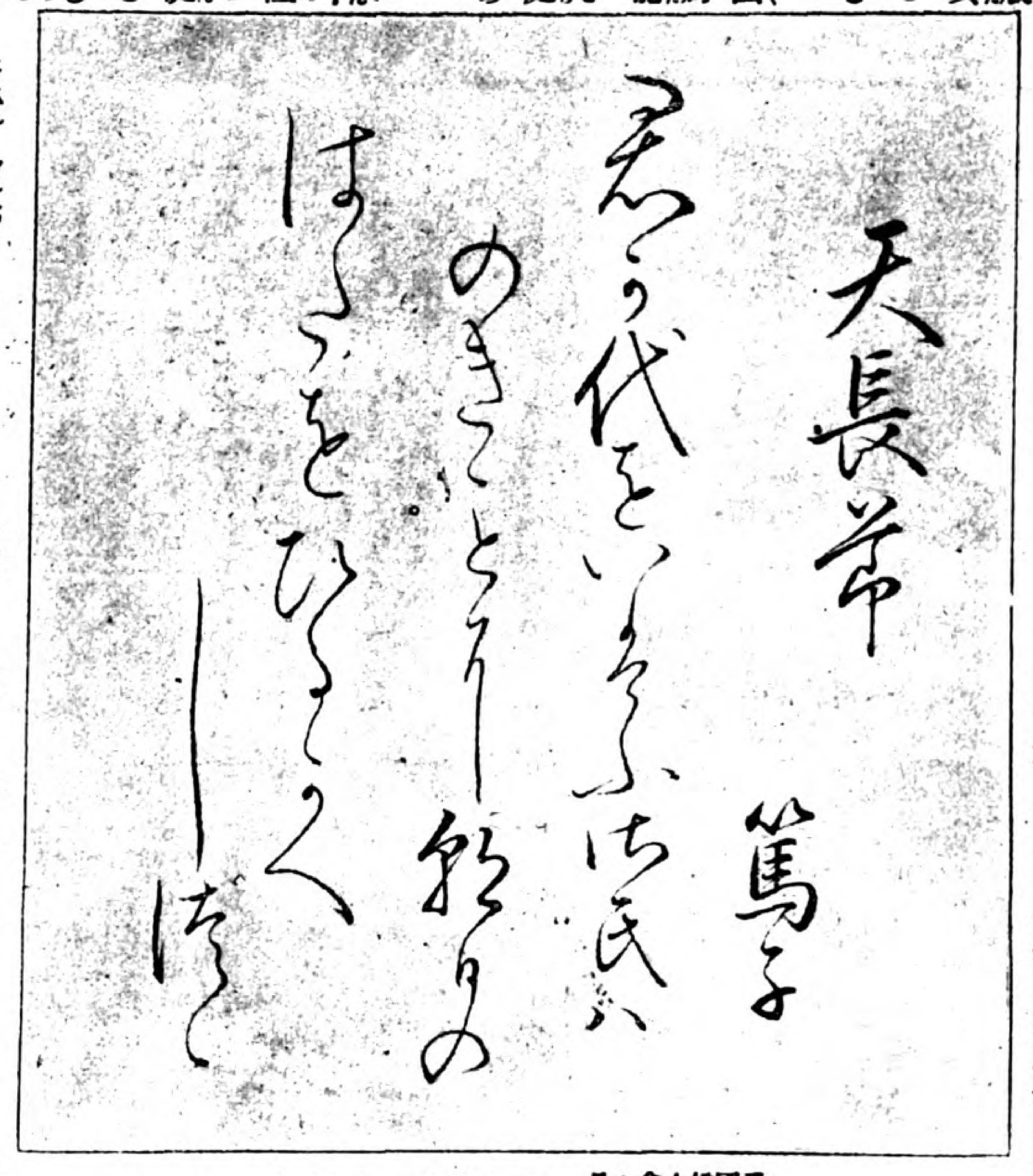
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

天長節と國民教育

文學博士　井上哲次郎

吾大日本帝國は、祖孫相續の歴史を以て一貫したる國である。國家が天皇の誕生日を祝ふことは、日本の外にも多くあらうが、吾國の如く、賢所に祭典を行ひて、祖先崇拜と深き關係ある國は、他に其例を見ざる處である。又日本臣民が、天皇の御誕辰を祝し奉ることは、同時に祖孫相續の意味を大に發揮して居る。天皇は歴代の天皇の系統を嗣ぎて、君臨し給へる故、今上天皇陛下の御誕辰を祝し奉ることは、取も直さず歴代の天皇に對し奉りて祝意を表する事となるのである。吾日本帝國の國民は、皇室の此祖孫相續の精神を繼承して今日に至り、國民教育の根本は全く此に存して居る。教育勅語の發布以來、已に二十年で、勅語と國民教育との關係が密接にして離るべからざる事は今更ら云ふ迄もないが其の教育勅語こそは、皇祖皇宗の遺訓であつて、遠く基く所がある。即ち、吾國の祖孫相續は血統のみでなく、同時に精神の繼承である。其の意味は獨り天長節のみならず、總て吾國の祝日祭日に表顯されて居る。又殊に今上陛下の御代に至つて、國民の教たるべき詔勅が多く發布せられて居る。即ち軍人勅諭、教育勅語、戊申詔書等。國民一般の遵奉すべき教が詔勅として發布されて居るのである是等詔勅の實行は、外國にあつては頗る困難の事であらうが、吾國では、能く之を遵奉して子弟を薫育することが出來るのである。斯の如く唯に政治上の詔勅のみでなく、教へとしての詔勅を國民一般に與ふることは、他國の爲し能はざる處である。故に今上陛下の御誕辰を祝し奉ることは、國民の元首としてのみならず又實に國民教育の淵源を垂れ給ひたる君主として之を祝し奉るのであつて、斯る國體は他に類なき所であらう。

以上述たる方面から考へても、天長節と國民教育とは其の關係が甚だ深いのである。吾皇室と國民との結合力は、年代の長いだけ夫丈强固であつて、皇室を中心としたる民族全體の一致結合は動かすべからざる大磐石の固めである。是天長節の佳辰に際し、國民が滿腔の熱誠を以て奉祝する所以であつて、將來益々此結合力を鞏固ならしめ、以て世界に向て大活動を爲さん事は、吾等國民の切に希望する處である。



愛國婦人會々長　伯爵夫人　阿部篤子詠書

●老子の三寶（二）

文學博士　南條文雄

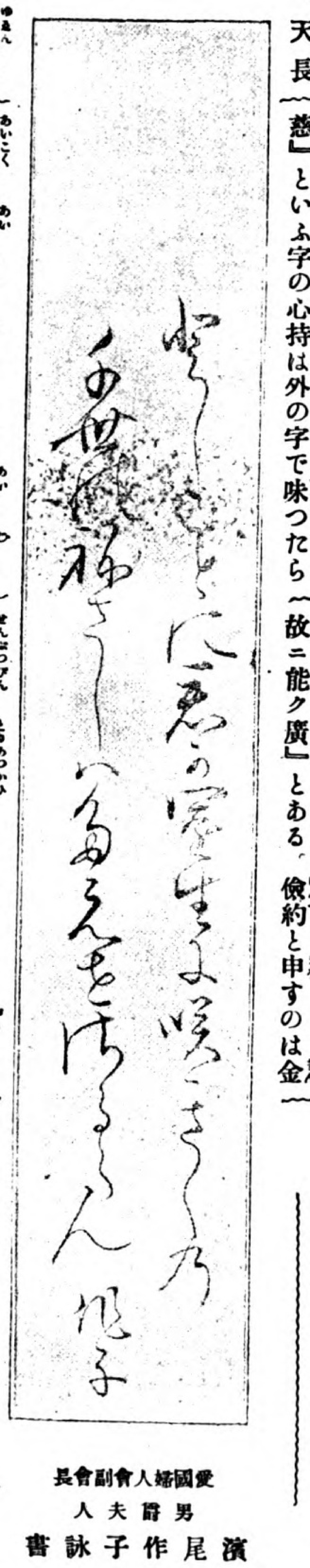
それで先づその寶の名を御紹介しますと、第一の寶の名は『慈』といふこの『慈』といふ字を字引に依つて見ると『慈は愛なり』とあります。即ち此愛國婦人會の『愛』の字で講釋してございます。この『慈』といふ字の心持は外の字で味つたら愛國の『愛』である。さうして『愛』の字の下を見ると『愛は惠なり』とあつて、慈愛　慈惠　慈善といつて『慈』といふ『字』を組合せる文字は皆よい字ばかりである。それを佛教の方では慈悲と申ます。『悲』といふ字は『カナシム』といふ字であるが、あれは悲む意味ではありませぬ。慈悲といふのは拔苦與樂と申して苦みを拔き樂みを與へるといふのが慈悲の心である。迷ひほど苦いものはありませぬ。私が今日此所へ來てお話をするお請をして居りながら途に迷ふてお約束の時間が過ぎたが、どうしても此所が分らないで、此邊を迷つて居つたら、是ほど苦しいことはありませぬ。眼に見へて居る體だが此所へ來るのに方向を取違へて迷つたら大變に苦しいものである。況んや眼に見えない心が行くべき道の方向が違つて居るといへば、是ほど苦しいことはない。其心の迷ひの苦みを拔取つて仕舞ふのが悟である。『悟』といふ字は忄偏に吾といふ字で、心が吾れになつたのである。心が吾が物となつた、吾が心には三つの寶があると分つて來たら是ほど愉快のことはない。即ち慈悲といふのは迷ひの苦みを拔取つて悟りの樂みを與へるといふので、是は因みに申上げて置きます。

それで『慈は愛なり』で、なぜ『慈』と云字で吾れ人の心が働くか、寶といふほどの値打があるかといふことは後に申上げます。

それから『二ニ曰ク儉』です。儉は約なりで儉約となる。是は後とに「儉ナルガ故ニ能ク廣」とある。儉約と申すのは金錢物品の取扱ばかりではないと思ふ。金錢物品を無駄使ひしないのも無論儉約であるが、それだけのことに儉約といふことを用ひては極く狹いと思ひます。私は能くお喋をしますが、私はいつでも申すのです。此私の口から出る聲はモット變つた聲を出したくても固有の聲より出ませぬ。是は私の固有の聲であるからといつて、此聲を使ふ儉約を忘れて、他人が熱心に話をされて居る傍で勝手なお喋をしたらば大變な邪魔をすることになる。それです。聲一つでも儉約といふことを忘れてはならぬ。此手を使ふのでも一足踏出すのでも、自分の身體を動かすのでも、斯うして出掛けて行つたならば法律に背く、斯樣な事に自分の身體を動かしては罪人になると氣が付いたら斷然止して仕舞ふ。さうすれば罪人にならぬそれが皆儉約です。儉約と申すのは言葉を換へれば浪費しないことです。濫りに費さない無駄遣ひをしないのが儉約である。

それから第三は老子としては餘ほど思切つたのです。第一と第二の寶は慈とか儉とか唯だ一字でいつて居るのに、第三には老子の本文でいふと『不三敢テ爲二天下ノ先一』といふ六字を用ひて居る。是はどういふ寶である乎。ソンナむづかしい寶は我々の心の何所にあるか。無遠慮に世の中の一番先にはならないといふ。これはどういふことかといふと、言葉を換へて申しますと謙遜辭讓の德です。

（つゞく）



愛國婦人會副會長　男爵夫人　濱尾作子詠書

山さとの軒はに秋のいろ見えて
人めにかゝる蔦のもぢみ葉
宣　擬

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育に關する 勅語 (二)

秦　政二郎謹解

朋友相信じ——

　人間は決して單獨で此の人生を經營される者でないから個人としては自助自成に獨立すべきも社會人としては共同戮力せねばならぬのが自然の理法である。此の理法からして兄弟姉妹と互に扶掖あひ親族と共に提携あふは勿論の事であるが更に朋友の共同が無ければなりませぬ。況して今日の如き內外交通の開けた時代には益々朋友の範圍が擴がり行くことであるから是れまでは我が邦の一地方なり又は全國なりの事業であつたものも是れからは他の外國にも關係し尙ほ進んでは世界的の事業ともなること故是非とも世界の有らゆる人を朋友として互に信義を盡しながら共同せねばなりませぬ。

　凡て朋友の交はりは一つの信義が楔であるから個人の交誼も團體の交際も政治上の國際も皆この信義がなくては成り立たぬ。例之へば商業にしても此の信義が唯一の資本である故信義の無い者は何程金錢物貨に富んで居つても無一物の人と同じことになるが信義さへあらば是れが何より無上の資本になつて一文なしでも幾億萬の取引が出來るやうになります。

　元來信といふ辭は自から助くる意味で誠實眞正な意義をいふのであるから言ふこと思ふこと行ることが皆眞誠あることでなければなりませぬ。斯樣な人は自然と他人から信用せられて自から助ける意義になり又斯樣な朋友をば信じて疑はぬやうになります。

　併し又玆に繰り返して申したいことは信を誤解せぬやうにといふことで、朋友互に信じ合ふて疑はぬのは義に適うて居ることを信ずるのであるから又互に信を盡しあふのであります。然るに若し無道邪曲た情誼や親切などを重くして、例之へば他人の爲にも世の爲にも害になる事と知りながら朋友だけ喜べば可いと思

うて幇助ふたり國家の不利になる惡事を贊成したりするやうなことを信であると心得てはなりませぬ。信は義に適合はねば道德に外れるから若しも不德無道の事理を解たならば縱ひ其の人は一時慍怨しても決して秕曲た事には共同せず却つて諄々と戒め諫めねばならぬが、人若し正當な事には十分力を盡して一旦約束した事は必ず違變ふことなく、場合により國家や社會の爲になるとならば命に懸ても果成る底の俠氣がありたい者であります

　而して又特に申し添へたいのは婦人の心得で、婦人は男子よりも感情の激しいのが生理的の本能である故人を信ずることも重いが又疑ふことも深い。であるから克く〳〵平らかな心性で常識を備辨へ理解を確めて相信の德を硏かねばなりませぬ。

　昔豐臣秀吉がまだ織田信長に仕へて居つた頃荒木村重といふ者明智光秀に讒言せられ信長を恨んで伊丹城に籠りし時秀吉之を諫めやうと思うて只一人城に入らうとした時部下の者は一人往くこと危しと諫めたが秀吉は村重の爲人を知つて居るから決して不義の害を加へる者でないと信じ一人で城に入りました。又久留米飛白の元祖といはれて居る井上傳女がまだ十五六歲の時に既見事な飛白を織り出したので二十人ばかりの弟子がありました。其の時何所の者か只豐前の生れと云ばかりで弟子にして呉れと賴んで來て三月ほど居る間何も仕事をせずに只傳女の作業ばかり見て居たので外の弟子等は必定傳女の技を偸みに來た者と信じて謝絕なさいと勸めたけれども傳女は彼の女の熱心と誠實とを見拔いて一同の勸めに從はず一年餘置く中に彼の女も作業を始めて傳女の巧挍を助けたから竟に傳女は完全な雪降霰織と稱する飛白を織り出し後には四五百人の弟子も出來て久留米飛白の名は全國に響くやうになりました。

▲本篇は筆者久しく病氣の爲め休筆せしが近來追々輕快に付又々起筆を乞ふことゝせり

米國では大統領の誕生日を殆んど知つて居る者はないと云つて可い位であるから國民擧つて其誕生日を祝すると云ふやうな事は勿論ありやうがない、米國人の多くは我國の天長節の夜會の催を只々不思議に思つて居るさうだ。英國では學校を始め諸官衙も皆業を休んで敎會に集まつて王樣の壽を盛んに祝福する、獨乙、佛蘭西其他大抵の國では英國程ではないが兎も角も祝するさうである。けれども我國民程盛大に祝する處はないのである。

離婚の研究 (中)

早稻田大學教授　永井柳太郎

四

　私思ふに、わが日本に於て離婚の頻繁なるは、婦人の罪にもあらず、また男子の罪にもあらず、實に時代の罪である。凡そ日本の家庭は西洋のそれとは異なり、新夫婦が出來ても、それが兩親とは別居しないで、一門の者凡て一家に居住するといふ風である。これは洵に結構な風習で、西洋の如く親子が別々に他人の如く生活をするよりも、親子が同一の屋內に團欒して、朝夕に相慰むるといふ方が、どれだけ愉快か知れぬ。從て此習ひは日本の美風として永久に維持したいものであるが、爰に困るのは老人と青年との間に於ける思想の懸隔であります。

　維新このかた西洋の文明が潮のやうに流込み、わが日本に於ける思想界は、これを維新前のそれに比べると、別世界のやうに變つた。從て親たる者の思想や趣味と子たる者の思想や趣味との間に大變な相違が出來て、其所に超ゆべからざる溝渠が生じたのであります。例へば姑殿は女は內輪に步くものぞと心得てゐるのに嫁殿は反身になつて大股に步く。姑殿は女は人前にてホヽと笑ふものぞと敎込まれたるに嫁殿は大口あけてハヽと笑ふ。姑殿は神棚に燈明をあげて一門の善運を祈るに餘念なきに嫁殿は聖書を携へて敎會へ出掛ける。姑殿は先祖の命日なればとて精進するに嫁君はビフステーキの料理するとて臺所で血腥い臭をさせる。如斯き有樣で、兩者は全く、その思想及び趣味を異にするのであるから、從て花嫁の新世帶に對しては、舅姑の非難が伸ひ易いのであります。雖然、如斯きは舅姑の罪といふよりも、また花嫁の罪といふよりも、寧ろ時代の罪といふべきものであります。

五

　この舅姑と花嫁との思想の衝突によつて如何に多數の離婚が生じつゝあるかは吾等が少し氣を付けて四邊を觀察すれば其例に乏しからぬのであります。我國に於ては離婚の原因に關する統計といふものがないから總體の離婚の中、凡そ幾割ぐらゐがこの思想の衝突に原因してゐるかは明白に分りませんが、私自らの考へでは大部分であらふと思ひます。現に明治二十年代に於ける離婚數を取調べますと今日よりはズッと多く、ざつと結婚三つに對し離婚一つといふ割合になつてゐる。それが今日に於ては前述の如く結婚七つに對し離婚一つとなつたのだから、西洋に比してこそ、まだ頻繁ではあるが、日本だけで考へて見れば、著敷く減少した譯であります。何故こんなに減少したかと申すに、それには色々の原因もありませうが、其主なるものは年月の經過とゝもに封建時代の舊思想を代表する舅姑が次第に亡び、明治時代の新敎育を受けた舅姑が次第に出來て、ために舅姑と花嫁との思想の衝突が減少したといふことにあるのであります。そうして見るとこの思想の衝突と離婚の多少とは密接なる關係を有することが明白で、今日に於ける多數の離婚も亦、少からざる程度に於てこの思想の衝突から發してゐるといふことの推測が出來るのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演要領

戰國時代の女(上)

文學士 岡部精一

▲戰國時代の婦人精神は貞操と義烈 ▲例に曰はく乳母政岡 ▲ナイトの尊重か武士道の厭抑か ▲母か妻か

わが國歷史上の戰國時代、即ち鎌倉の後德川時代に至る期間に現はれたる女性には何んな性質があつて、何んな特徴があつたかと云ひますと、貞操といふことは平安朝時代にも既にあることはあつたが鎌倉時代に武士道が起ると同時に、女の道にもそれが影響し感化を及ぼして、貞操といふことも大に盛んになつて來ました。武家時代には武士道が遺憾なく完全に發達し大にそれが隆盛を極めましたが、斯く男子の間に武士道が行はるゝに伴れ、それが女子に影響を及ぼし所謂女道なるものが此處に大成したのであります。女道といふのは自ら女子の間に行はるべき倫理道德のことであつて、即ち武家時代の女道には頗る武辨の性質を帶びて來ました。言ひ換ふれば女子本來の性質たる優美の上に義烈といふものが加はつて來ました。戰國時代の女道は貞操と義烈の二つで現はす事が出來ます、此の義烈といふことの中には忠義、孝行といふことも含まれて居りますが、それに夫に對する道の貞操、此の二つが戰國時代に於る我國の女性の主なる特徴であると信じます。此の貞操義烈を以て名を後世に留めたものが此の時代に最も多いのであります。其等の女性の傳記を讀みますると貞操忠義孝道にかけての美談はいたるところに埋れて居ります。かの德川時代に盛んに起つた歌舞伎の時代物の中に現はれたる人物の行爲には、此の種のものが大變に多い。今日から見ますれば此等には云ふ迄もなく假作の跡が多いのであるが、其の基く處は、其當時の人心であります。戲曲文學は其時代精神の反映であります。伽羅仙臺萩を御覽なされ、乳母政岡の忠義は容易ではなかつたので、自分の最愛の子まで殺して君主の身代にしました。仙臺萩は假作物には相違ないが唯作者の腦中から架空的に出たものではありますまい。事實は何か基くところがあるでありましやう。その「死ぬるが忠義といふことは何時の世からの習慣ぞ…」といふたのは、よく其の時代の婦人の精神を現はして居ります。

今日から見ますと戰國時代の女性は社會から非常に壓抑され、性格は消極一方で、少しも積極的にするといふことがなかつたやうでありますが、私の見るところでは、此時代の女道程世界に於て最も完全したものは無からうと思ひます。萬國廣く且つ古しと雖も之に類例べき女道は無いと信じます。西洋の騎士は勇を現はすと共に女子を尊重し保護するが、日本の武士は之に反して女子を壓抑し夫は妻に對し父は娘に對し生殺與奪の權を有つて居ります。かく東西の風全く反對であります。然るに歐洲文明輸入の結果今日の我國には此兩極端の思想が戰つて居り、それが女子敎育界今日の有樣であるので女子敎育者も女子自らに於ても最も困難な時代と云はねばなりません。それは兎に角、極めて古い例ではありますが、此兩極端の思想の例を擧げて見ましやう。

母親と妻とを伴れた男子があつて、それが旅行の途中で難船した。ところが其處に一本の木が浮いて來た。之に二人が取りつけば浮んで居るが三人となれば沈んでしまう。此時日本人ならば妻を捨てて母親と共に助かることをする。西洋人は母を捨てゝ妻を助ける、何故日本はかうであつて西洋ではさうでないか。日本の人の思想として母親は一人である、他の母親を持たうとしてもそれは出來ない併し妻は幾人でもかけかへが出來る。であるから大切の一人の母親を助けて妻を捨てるのだと云ふ。それが西洋人であると母親は最早年老つて既に此世の義務を盡し終つたものである、妻は若く是から社會に盡さうとして居るものである。母は過去の人、妻は未來の人である、よつて妻を助けて母を捨てるのだといふ考へであります。此例は實によい兩極端の思想の對照であります。果して何れを取るべき乎。(つゞく)

愛國婦人會主唱者故奥村五百子刀自の長女敏子女史は去日本會敎養所を參觀されたるが左記は其の際女史が敎養生に語られたる談話の一節なり

私は現今南朝鮮鎭海灣の附近に約一萬坪餘りの土地を朝鮮人と共同經營して蔬菜の栽培に從事致して居ります。當地には度々參ります。其都度當敎養所の門前を通りましては、お立寄り致して兒童達にも御面會が致したいと心ばかりははやりましたが、澤山のお土産でも持つて參らなくてはと存じまして、今日迄御遠慮致しました、ところが幸にも今日此處に御面會致して、親しく御話を致す事の出來たのは、私の非常の嬉びと致す處で御座ります。

さて私の唯今參つて居る朝鮮即ち前の韓國は、御承知の如く太古から我國と大變關係の深い國で、古くは神功皇后樣の御征伐や豐臣秀吉の征伐があり、降つて明治維新後になりまして、西郷隆盛や江藤新平などの偉い方々が不幸な最後をなさいましたのも、亦韓國が原因となつて居ります。それから金玉均事件があり、天津條約が出來、遂に日淸戰爭が始まり、日露の大戰役が起つた、是れ皆韓國が主なる原因をなして居ります。今は韓國は朝鮮と改り、我が天皇陛下の御威稜の下に併合される事になりました。昔から事の起るのは起りたる折に起つたのでは無く、因て來る處が必らず在るものであると申す詞がありますが、想へば我國と朝鮮との因緣は前述の如く誠に深いものがあります。

又、この愛國婦人會は、私の亡母の五百子が、明治三十三年の北淸事變の折り親しく戰地に參りまして戰地の慘狀を目擊致しました結果、出征軍人に對する內地婦人の後援の必要が甚だ急務である事を感じ、いざ戰といふ場合に出征軍人の遺族を救助して不安なからしめ、軍人をして安心致して戰地に赴き御國の爲めに勇敢に戰ひ得せしむるやうにするには、是非共婦人の後援が必要であるといふので、其の婦人團體を作る事を主唱致し、皆樣方の御援助を仰ぎ、半襟一掛けを叫んで西に走り東に驅け、遂に今日の愛國婦人會を設立致したのであります。母は實に死に至りますまで口に愛國婦人會の聲を絕たず、此の會の爲めを念ひ、此の會の將來の隆盛を祈つて居りました。五百子が尙今日生存致して、此の會運の隆盛を見、又あなた方敎養生に接したらば如何に喜んだのでありましやう。思ふだけでも尙泣かずには居られません。

あなた方の父兄は御國の爲めに戰場の露とお消へ或は戰傷を被て癈兵となられました。あなた方は實に名譽ある勇士の子弟として今日此の敎養所に收容されて勉學中の身である事を忘却てはなりません。そして將來立派な國民となつて天皇陛下に忠義を盡し、一は又孝悌の道を致さねばなりません。それには、良く職員方の敎を守り、決してそれに背くやうな事があつてはなりません。若し萬一にもあなた方が職員方の敎を守らぬ事があつては、獨りあなた方自身の不名譽ばかりで無く、實にお死になさつたあなた方の父兄の立派な名前までも傷ける事となります。よく〳〵注意し戒めて勉強されるやうに願ひます。

又愛國婦人會は今日此樣な盛大なことになりましたが、元はと申すと前にも申した通り、皆樣の半襟一掛の金が集つたものでありますから、あなた方も其を思つて筆一本半紙一葉でも不注意に取り扱はぬやうに致されたいものであります。

それから又一つの御願といふのは、あなた方が靖國神社に近く往つて居られるのを幸、朝夕の散歩の折などには必らず靖國神社に詣つて、あなた方の父上や兄上等の御靈にお詣となされん事を切に希望致します。

愛讀者諸君へ謹告

▲本誌[illegible]ります。此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が便宜もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手で御註文又は御送金の節は必らず割増に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は每號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ひます。

愛國婦人發行所

衛生講話 腹式呼吸の話（二）

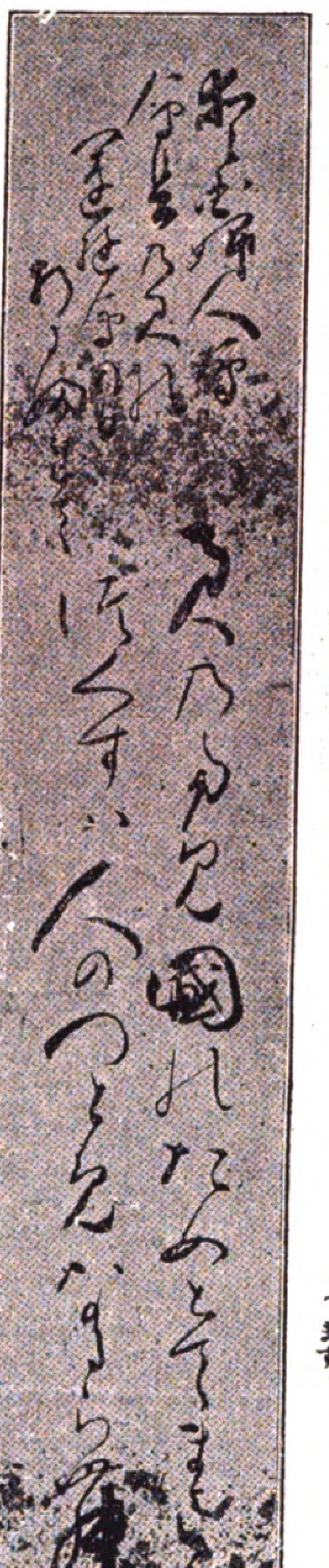
醫學博士　二木謙三

▲劇烈極まる神經衰弱に罹つた事がある　▲肺で呼吸せず腹で呼吸す　▲淺い呼吸深い呼吸　▲今日お目に懸るは腹式呼吸のおかげ

私は幼少の時に大變弱かつたのであります。其弱さ加減は唯今お話致すのも、時間の無い所で煩はしいから申しませぬが、兎も角身體が非常に弱かつた。それで小學校にも漸く九歳で這入つたといふほどでありまして、さうして神經衰弱といへば又極度の神經衰弱でありました。現時の學生に多く神經衰弱といふことを聞きますが、私のやつたのに比べると百分の一にも當らないやうに思ひます。其ひどい神經衰弱をやりまして、例へば日本帝國と書いてある文字が眼には見えて居りましても、それが曾て見たことのある文字だと思ふだけでありまして、其以上は少しも觀念に浮べることが出來なかつた程なのであります。其神經衰弱の爲に試驗の點數などは實に憐れなものでありまして、平均點三十何點で、六十點以上の科目は體操と圖畫とだけであつた、といふ位の不成績に學校を了つた歳もありました。さういふ身體でありながら、曾て私が書物で讀んだことのある腹式呼吸のことを思ひ出して、それから起き伏しとなく行ひました結果、年と共に段々丈夫になりまして、さうして此法を行つてから一日も學校は休んだこともなく、勤めを休んだこともなし、西洋へ參りましても直ぐ翌日から仕事に掛り日本へ歸つても直ぐ翌日から仕事に掛るといふことで、幸ひに何事もなく經過して、今日茲に皆さんにお目に懸ることを得ますのは此法のお蔭であると感謝致して居るのであります。されば其方法はどんな方法であるかと申しますれば、何もむづかしいことは少しもないのであります。健康な人は皆之れを知らず識らずの間に行ひつゝあるのであります。唯だ弱い方だけはナカ〳〵行ふことも出來ない。練習されてもナカ〳〵其目的を達することが困難であるが、慣れて見ますると極めて簡單なことになるのであります。そこで其方法を簡易の言葉で申しますれば腹で呼吸をする。それから腹に元氣を養ふ。腹に力を蓄へるといふ、此三つの方法に分けてお話をすることが出來るのであります。

さて、其腹で呼吸をするといふことはどういふことであるか、私共の是まで聞き知つて居る所では、呼吸といふものは胸でである。即ち肺であるやうに聞いて居る。そこで腹で呼吸をするといふことは一體どういふことか、これを一つお分りを願はなければならぬのであります。それから此呼吸の仕方には幾通りあるか、即ち肺で呼吸をせぬならば何所で呼吸をするかといふこともお分りになるやうに願はなければならぬのであります。

そこで、先づ呼吸の種類からお話を致しますると、凡そ人間が呼吸をする上に於て、第一に普通の人の呼吸の仕方はどうかと申しまするど、あれは皆淺い呼吸の仕方で、淺呼吸といふのであります。それはどういふ工合にするかといふと、斯ふいふ風に靜かな早い呼吸であります。さうして自らも何時呼吸をしたのか、幾つ呼吸をしたのかといふことが分らぬのであります。それに反して今度は強い呼吸である。即ち是は自分で心を用ひてしなければ出來ない呼吸の仕方で、深呼吸と名づけるのであります。其呼吸はどういふ工合になるかと申すと、斯ういふやうに深く強く十分に呼吸を引くのであります。此二つの呼吸の中でどれが最もよいかと申せば、深呼吸がよいのであります。それは世界の學者の説が悉く一致して居る所であつて、北里博士なども、深呼吸は肺病の豫防になつて、又初期の場合には治療にもなると述べられて居ります。（つゞく）



愛國婦人會東京支部長　阿部龍子詠書

小兒の齒の養生（上）

ドクトル　大久保蟠龍

▲齒は何時萌生る　齒牙は小兒が胎内に宿つた後七週間目位頃から漸次形作らるゝものでありまして、生後約六ヶ月から二年半に亘りまして出齦を終へるものでありますが、併しながら體質の強弱、營養狀態などに關係致しまして、其の時期に多少遲いとか早いとかの差別はあります。

▲齒の萌出る時の注意　此の齒の生へまする折には色々の徴候を來すものであります。私等が最も多く目擊致しまする徴候は小兒の夜間泣啼、夫れから物を咬みたがる事でして、殊に硬固物質を上と下との齒堤の間に咬む事であります。之は多分搔痒の感がある、夫れを醫す爲めであらうと考へます。斯の樣な時には種々の病氣も隨つて發し易いのでありますから、十分に注意して、消毒ガーゼや西木綿の清潔なものに、硼砂水のやうなものを浸潤しまして、口内や舌等を清潔に拭掃てやられねばなりません。

▲齒のはへる順序　こうして萠生た齒牙に乳齒と云ひますが、此の齒牙の生える順序は、先づ下顎の中切齒（門齒）から上顎の門齒といふ順序で左右の齒が對生するのが普通でして、其の數は、上下顎共に各十枚宛が一般の規則的のものであります。

▲齒の交換　乳齒は或る時期に至りますると皆脱落て成齒と交代するものでありまして、六歳頃に奥の方に先づ大きな齒が生へます。之は六歳臼齒と申しまして、成齒の第一の大臼齒であります。それから漸次下顎の中切齒から脱落らまして上顎に及びます。之は乳齒の萠生時と同樣の順序であります。此の成齒は六七歳頃から二十歳頃までに完生するものであります。又第三大臼齒即ち智齒とか親不知とか云ふのは、萠生時期が一定致しませず、早いものは十八九歳頃、先づ普通では二十五歳迄に萠生ます。間には三十歳になつても四十歳になつても若くは又終生でも骨中に埋伏て萠出ぬこともあります。

此の乳齒から成齒に代る頃、即ち六七歳位の時に注意致ませぬと、乳齒の脱落ちる事が延滞する結果、成齒は已むを得ず、前方、内方、側方等に萠出して齒列を不揃ならしむるものでありますから、折々檢查して注意する必要があります。又乳齒の交換期前、即ち三四五歳位の頃に、上顎の前齒根が外觀に現はれ、又齒齦と口唇粘膜との間の移行部といつて、薄い膜のあるのが損傷る事もありますから、之は拔くか或は根を切斷して置くかに注意せんければなりません。（つゞく）

美しかりし園遊會

本會々長阿部伯爵夫人並副會長濱尾男爵夫人が個人の資格をもて本會本部及東京支部の職員を招待して去る十月十四日午後一時より本郷西片町十番地なる伯爵邸に園遊會を催されたる事は前號所報の通りなるが、當日參會の來賓は前長岡部子爵夫人其他約二百名にして合憎くにも秋の日の空模樣怪しくて時々蕭々たる小雨降る中を主人役の兩夫人は會場入口にて懇に來賓を出迎へらる導かるゝまゝに内庭に廻りて會場に至れば此處には芝生青く蒸して落葉の影一つだも止めず彼方にはダリヤ、コスモス等千々の草花今を盛りに咲き亂れて艶を競ひ香を競ふあり園の中央よろしき所休憩所に南面して餘興場の設ありダリヤ、コスモス等の花美しき傍には天幕張りの甘酒屋あり彼方の樹下陰には栗餅屋あり更らに東の方小高き丘の上なる吾妻家の軒端には『御汁粉』並びに『煮込おでん』の紺簾紅く張り廻されたるあり、軈て定刻に至るや先づ餘興場は開かれて松井源水の獨樂の曲始まる太刀の刄渡り、獅子の兒落し、水車其他數番の妙技いづれもあざやかに湧くが如き喝采の裡に曲を終り次で模擬店を開かれたるが折りから雨も歇み碧空高く晴れて絶好の小春日和を貴婦人達三々伍々打ち集りて睦まじく語り合ひながら模擬店へと向はる伯爵家の奥女中等二十餘名の淑かなる接待にて二百の朱唇こゝ暫らくは甘酒お汁粉栗餅おでんを召し上るにいそがはし。軈て再び餘興場は開かれ今度は梅坊主一座の住吉踊ありて笑聲賑かに之も終りたれば引續きて食卓を開かる食卓は一百坪餘の大天幕張りに紅白の幔幕打ち廻らしたる所に設けられ先づ伯爵夫人の丁重なる挨拶ありて宴に移り折詰、籠入り水菓子、サイダー等の饗あり其間絶えず蓄音機を演奏して興を添えられたるが來賓方は各々打寛ぎて暫時は快談に耽り和氣藹々の裡に目出度く散會したるは秋の日の暮れ易くはやくも夕霧淡き頃なりき。尚又園遊會終りて後馬屋原事務總長其他事務員一同を大廣間に招して丁寧なる晩餐の饗應ありたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋

粉下の風

(三十二)　京都大學講師　池邊義象

●宮の鶯

(序)華清の春のあさかすみ、柳櫻のいろふかく、錦のたもとかをきりて、みゆきを待そうるはしき。

この一組は、唐の玄宗皇帝の後宮をかきて、專ら上陽宮のことをいへり。上陽宮とは、彼の玄宗の楊貴妃を寵せられてより、三千の美人は上陽宮といふにうつされて、寵おとりたれば、いづれも歎の中にすぐしゝことをいふなり。

この序は、まづ當時の後宮の盛なりしことをいへるなり。華清とは宮の名にて、金銀を鏤めたる樓閣なり。こゝにて玄宗楊貴妃を寵せられしなり。長生殿などもこの中に在り、大浴殿もしつらはれて、美女花のごとく浴み遊びしなどいへり。後宮の遊樂のはなぐくしくめでたかりしをいひて、一章以下の序となせり。

(一)宮のうぐひす花になき、軒のつばめは雨をよぶ、うらやましきはおのが身を、心のまゝにまかすらむ。

楊貴妃一たび參りてより、他の美人ことぐく寵愛おとろへ、上陽宮にうつされて、せんすべなく、鶯燕の心のまゝに遊ぶを羨むさまなり。新續古今集

爲忠朝臣

いたづらに六十の春の過ぎにけり　みやのうぐひす聲ばかりして

(二)楊家をいでしその色に、君の心まとはされ、ひとりの外は目につかで、遠ざくるこそ恨なれ。

楊家は即ち楊貴妃の家なり。貴妃は楊玄琰といふ人のむすめ、楊太眞といふものなり。白氏の長恨歌に

後宮佳麗三千人、三千寵愛在一身

といひしごとく、後宮三千の美女、この一人の爲に悉く顏色を失ひたりといへり。

(三)撰ばれ入りし二七の春、うつされきてはむすぢの秋、空しき床に老いはてゝ、ねをのみなくぞ哀なる。

これは寵おとろへて、上陽宮に在る美人のことをいへれども、主としては梅妃とて、もと玄宗皇帝にいたくいつくしまれしが、貴妃の爲に疎せられて、こゝにうつされたる女の上をいへり。二八の春は梅妃が十六の春より入りしをいふ。うつされは、上陽宮に遷されたるなり。むすぢは六十なり。ねをのみなくは、哭泣することなり。

(四)芙蓉はなおとろへて、露のたま光なし、いまは見えじな見もせは、うとき人には笑はれむ。

芙蓉もしかす美人の粧ひなど、支那にてはこの芙蓉の花を美人にたとへたること多し。その芙蓉の花もおとろへて、露の珠の光もなしといふは、寵のおとろへたる美人をいふなり。いまは見えじな云々とは、かゝるさまとなりては、今は人にも世にも見えまいぞとなり。二條太皇大后宮大貳家集

紅にたとへしかほもしわふりて　うとき人には見えしとぞおもふ

とあり

(五)壁にそむけるともし火の、またたきのこるよもすから、窓うつ雨のおときけば、いとゞさへねられぬ。

壁の方に燈火をそむけて、我が方を見るなり。またゝきのこるは、燈火の消えやらでのこれるさまなり。白氏文集に、

耿々殘燭背壁影、蕭々暗雨打窻聲

といへるこゝろなり。いとゞさへは一層ねられざるをいふ。

(六)たとへていはゞ、花鳥文につくり詩にうたふ、今やうすかた、とりぐの、なかにわびしきたゞひとり。

花鳥は詩につくり文につくる、今樣すがたとりぐのめでたき中に、たゞ我ひとりは悲しく暮となり。即ち梅妃がことをいへるなり。

此一組は、上陽宮夫人の楊貴妃の爲に寵を奪はれ、あたら花のすがたをここに老いはてゝなげくさまをいへり。これは白氏文集によれることはいふまでもなけれども我が國にても早くことのこゝろを歌によめるもあり。夫木集長方卿

はかなしやむなしき床にあけくれて　としのむそぢのあだにすぎぬる

定家卿も、

しらざりき塵も拂はぬ床の上に　ひとりよはひのつもるべしとは

などある是なり。

●菊の話

理學博士　伊藤篤太郎

菊は元來支那が本場で、日本のも支那から傳來したのであります。古來支那で園藝上最も進步したものには例の富貴の牡丹があり、次では此の隱逸の菊で、餘程古い昔から菊花培養のことが發達して居ります。今日でも、人工から來た變化の種類が、凡そ四百種以上もあります。

其後此菊が朝鮮に渡り、朝鮮から更らに我國に傳來したのは、桓武天皇の時代とも云ひ、又仁德天皇時代に當時の百濟から渡來したとも云つて居ります。さて此の花の特色として、他の草木の莖枯れ葉を落す時に、獨り霜に傲り風にも屈せず、高潔の色鮮に香もかんばしく咲き出づるのが、忽ち我國人の嗜好に適つて、賞翫者が非常に多くなり、益々園藝的に發達して遂に本場の支那を凌ぐことゝなりましたが、中でも菊花の全盛時代とも云ふべきは元祿享保の間で、菊の鬪花會が各地に開かれ、愛菊家は競つて各自丹精の技倆を誇つたものであります。

この花は前にも述べた通り支那が本場でありますが、現今では世界各國に擴まり、東洋產の名花として持て囃されて居るのであります。その支那なら始めて歐米に菊花が輸入されたのは、西暦千六百八十八年、我國の元祿元年であるといふことが或る和蘭人の著書に見えて居ります。夫れから程なく英國東洋印度會社の一軍醫が博物標本として此花を持ち歸りまして、始めて英人間に菊の名花であることが知られ、其後千七百六十四年に始めて栽培が試みられることゝなりました。其後屢々此花が輸入せられて、菊の名聲が次第に高まり、愛翫用或は裝飾用として最も價値ある花として持て囃されるやうになりましたが、併し其頃は追に英國でも、東洋に關する智識が餘程幼稚であつて、支那を印度の領土の一部分と心得、當時の或る博物學者はこれにクリサンテム、インジクム(印度の菊)と命名しました。

歐米人の菊を愛して之を研究する熱心さは、決して東洋人に讓らぬばかりでなく、寧ろその上手を越して居りまして、培養の方法なども非常に進步して居ります。菊に關する著書の如き、我國では漸く三十種位しかない處に、英國では既に四百餘種の多きに達して居り、又菊專門の雜誌などもあります。西暦千八百八十九年は、丁度菊花の輸入以來二百年に相當するといふので、英國全體の各園藝家が一致して、菊花輸入二百年紀念祭を最も盛大に擧行したさうであります。其他米國、佛國、白耳義等の各國でも、到る處非常に愛翫されて居ります。尤も東洋人と歐米人とが嗜好を異にして居る結果でもありませう。我國人が一文字菊や、嵯峨菊、狂菊の如きを愛するのに反して、歐米では珠のやうな團子のやうな球狀の花を嬉ぶのであります。之は實は花の趣味以外、或る原因からも來て居るのでありますが、兎も角も歐米人は日本の菊花を見ても、實は甚だ嬉ばないのであります。(文責在記者)

十一月行事

立冬よりは冬に入る〇三日は天長節〇二十三日は新嘗祭とて、天皇陛下新穀をもて神祇に奉りたまふ〇八日には鍛冶職の家々にて鞴祭を行ひ酒肴を供へ蜜柑を撒く〇十五日は小兒の祝日にて、男女三歲、男兒五歲女子七歲なるを携へて產神に詣づ〇酉の日十一日廿三日に酉の市あり〇初の亥の日を爐開きの期節とす〇紅葉狩は下旬より始まる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洋服を保つに就ての注意（上）

日本女子大學教授　井上秀子

▲曩日も某新聞社のお方の御依頼を受けて御話し致したことで御座りましたが、男子の方々が銘々の勤め先から御歸宅になりましたら、先づ取り敢へずブラッシをかけて、上衣、胴衣、ヅボンの塵埃を拂つて疊んでお置きになり、尠くも一週間に一度は必ず鏝をお當てになる必要があります。鏝の當て方は、木の板の上にフランネルなり綿ネルなりの柔かい物一枚敷いて其の上にキャラコ樣の薄い布片を延べて、其の上に洋服を載せ、別に濡らしてある手拭を洋服に敷き、其の上から鏝を當てるのです。鏝は溫るくては効きませぬから、水をはぢいてシューンと音のする程熱くして置いて當てるが好いのであります。斯樣に申したのみでは、一向面倒なことはムいませぬやうですが扨て實地となると、毎日塵埃を拂ふて疊むと云ふことはなか〱六ケ敷いもので一週一度宛怠らずきちん〱と鏝を當てると云ふことは尚ほ更ら六ケ敷くなります、併し所謂慣ひ性となるので、三四ケ月間も勉强して繰り返へしますと、今度は餘り心配なしに無意識に出來るやうになりますから、此の持續的良習慣を養ふことが何より肝腎であります。

▲洋服にせよ和服にせよ、脫いた儘形付けずに一應檢査し置く必要があります、就中洋服に至りては一段と此の注意が必要であります。御主人なり御子供衆なりが御出勤先や學校からお歸りになりましたら、前に述べたやうに取扱ひ乍ら襟、縫目、釦と一々檢査を行ひ、若し襟に油汚が見えましたらエーテル、揮發油、アルコールの何れかを脱脂綿につけて丁寧に拭き取り、釦が緩んで居つたら丈夫なカタン糸にてつけ直し、穴の糸がはづれて居たら穴糸にてかゞり、縫目が綻んで居つたら羽二重糸にて縫ひつけて整然と整頓して置かぬと好けませぬ。苟くも一家に一人にても洋服常用の方の居らるゝ以上鏝、角溝針、カタン糸、羽二重糸、穴糸揮發油位は屹度用意し置き、又た其の家庭に主婦たる方々は、鏝の使用方や釦穴のかゞり方位は心得置く必要があります、洋服の檢査が一ト通り行き届きましたら、次は順次ワイシャツ、カラ、カフス、ネクタイ襦袢用襟衣、メリヤス、ヅボン下、ハンケチ、靴足袋等の附屬物の檢査に移るのですが、斯くて前夜中に洋服及び其の附屬品の檢査法と整頓法とが完全に行はれますと、翌朝の出勤登校などにまごつく虞れは少しも無いやうになります。朝洋服を着けやうとして御主人の襯衣の釦が脱れてあつたり、御子供衆の靴足袋に穴が明て居たりして、急に大騷ぎとなり、其れが爲め御主人の感情を害して其の日一日不快に逆らせるなんど云ふ例は必ずしもないとは限りませぬ。此の檢査法と整頓法とは和服にも應用し娘御さん達には十二三歲の頃から嚴重にお躾けなさるがよろしいかと思はれます。

家庭育兒實驗談（投稿隨意）

○夜眠られる折の注意

豊橋　都築悦子

夜何か考へ出しますと、サア眠られなくなつて困ります。其時には上向に寢て下腹へ力を入れて息をせぬようにして居て、天井に向つて「南」と云ふ字を三度指で書く眞似をして、それから右向なり左向なり自分の好な方に寢ますと、スグあくびが一ツ二ツ出ます。夫れから何時の間にやら知らぬ內に寢入つて了ひますが、それでも眠られませんければ梅干を一つ食べますと、屹度寢られます。右二通り致しましても眠られませなんだら、それこそ病氣なんですから、御醫者さんに見て貰はねばいけません。

○女學校の便所

深川　青木

私は去る日姪の通學致して居る某女學校の同窓會から御招待を受けまして參りました。卑陋なお話しですが便通を催しましたので、急いで便所へ參りますと、どの便所もどの便所も、大變に不潔で我慢にも這入れませんでしたので、誠に迷惑を致しました、歸宅致しましてから姪に尋ねて見ますと、毎朝〱生徒の上にお立ち遊ばす方が清潔に掃除を遊ばすさうでありますが、それでも午後になると毎日あんなに不潔になると申しました。之は詐らす飾らぬ確な事實で御座りますが、讀者諸姉は那麼御感じ遊ばしますか。かく申しまする私は「便所を見ると略其の家の主婦の性格が分る」といふ事を信じて居る者で御座います。

○大きな聲して泣け

澁谷　仲子

今年三歲の長男、人に逢ふ時に耻かしがつて他家に連れて行けば母親の膝を離れません。ところが或日父母に伴れられて知人の宅へ參りました時、父が「太郎は今日も耻かしがつて泣くだらう、泣くならば大きな聲して泣け」と途中で頻りに云つて參りました、先方へいつてみますと、泣くどころか、その家の人に抱かれて非常に元氣でございました、が、こんな敎育法は果して子供の爲めに好いでしやうか不良でしやうか。

○玻璃器を磨く法

相模　さわ子

玻璃器や硝子板等を磨きますのには酢、酒、石油などを用ゐても宜しいが重曹を濕つた布に附けて磨き、後乾いた布でよく拭きますと綺麗になります。

●季節の御料理

▲**花海老**　生海老の皮を剝き背を割りて黑糸のやうな血管を取り捨て、割りたる方を外にして、丸くまげ、酒、砂糖、醤油にて暫時煮て味をつけ、盛り合せとして出します。

▲**靑海海老**　車海老の腹を貫きて、小さき竹串をとをし、海老の曲つて居る姿勢をのばし、水一升に鹽二十五匁の割合の水に沸らし、是にて鹽湯出しし、水につけ皮を剝き、竹串を抜き薄く輪切りにしてそれから酢一合と鹽二匁を混ぜたる中に漬ける事が約二十分間位で取り出し、別に糸きり大根を此の鹽酢に漬け、引きあげて布で絞つたのを、前の海老と共に皿に盛り味淋を少しかけて出します。

▲**牛肉の味噌漬燒**　牛肉を二分位の厚さに、一人前宛切り置き、味噌を擂りて裏漉しにかけ、味淋と醤油にて味をつけ、平らな鉢に味噌を薄く引き其の上に白紙を置き肉を並べ入れ、亦其の上に白紙を載せ、味噌を敷き、斯く材料のかぎりして、三四時間を經て取り出し、強火の上に金網を置きて燒き、馬鈴薯を卸ろし鹽、砂糖と少量の葛粉をいれて、小さき團子形に作り、胡麻の油にて揚げ添へ合せとします。

▲**茶椀蒸**　種は鳥肉、魚、海老、銀杏、栗、筍など用ふ。（種の少なき方高尚なり。）肉類は生のまゝを、醤油の中へくゞらせ茶椀に入れる。野菜物は下煮をし（下煮は薄醤油、煮出汁少量の砂糖にてざつと煮て入れ、十人前に玉子（大ならば十個小ならば十三位）を、煮出し壹升醤油三勺、砂糖十匁をよくかき交ぜて茶椀の七分目まで注ぎ入れ、蒸籠に並べて十分間程蒸して出す。（蒸し過ごせば、穴あきて見ぐるしく味も惡くなる。

▲**燒松茸の卸和**　百五十匁の松茸を基を五分位の厚さに平らに切り傘は其の儘として共に鹽水に浸して置いたのを金網の上にて兩面から適度に燒き其れを更らに細かに割いて置き次に大根百匁位を擂り卸ろして其れに柚子一個分の酢を絞り込み少々位色着く位迄に醤油を注して前の松茸と和へます出す時に上に花がき鰹節を少々かけると風味も佳く見ばえもあります。

萬歲ビーフデイー
一名固形スープ
進歩せる科學の力により總ての滋養分と味とを結晶體にせるもの所謂理想的營養調味料です

薬用肉エキス葡萄酒
ウ井ンカァニス
古い上等の葡萄酒にエキスとを抱和した無類の滋養補血強壯劑です

幸福な家庭を何時でも御備へ付けになつて置く事が必要です全國到處に販賣して居ります輸入元は東京新橋
龜屋鶴五郎　電話新橋（七七二 七七三 七七四）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭と地理的智識

（下）

三巻芳嶺

婦人は地理的智識などは必要で無いなどとは決して云はせませぬ。日本在來の婦人ならば知らず、明治に生れた婦人は、女であるからと云つて地理の智識が缺乏して居つてはなりませぬ。

此の地理的智識は先づ家庭に種を蒔き學校で養ひ、更に家庭と學校とで保育し、成るべく實際に經驗し得る機會を多く作らねばなりませぬ。此點に於て家庭に立つて、子供と最も接近する婦人は、是非一と通りの地理的智識を備へて置かねばなりませぬ。自分は其手段として、家庭には必ず我が府縣下の細密地圖、日本帝國全圖及び世界大地圖の三幅を備へて置く事をお勸め致しまする。

近來は教育が普及すると共に、地圖も澤山出版されましたが、然し地圖を有つて居るのは、學校ばかりと云つてもよい有樣で、一般家庭は未だ地圖と接近する機運に向つて居りませぬ。從つて日本はどんな形をした國やら、自分の住んで居る土地の位置をも知らない人が少なくありませぬ。これは地圖を學校の專有物として、家庭の一要具としなかつたからであります。外國人の家庭では、裝飾的にも實用的にも競うて地圖を掛けて居りまする。其結果子供は早くから地理的觀念を有つて居りまする。つまり子供を偉大にするし、又とかく引込思案の婦人を世界化するのでありまする。

然し折角地圖を掛けて置きましても、多數の御婦人方は見向きもなさるまいと思ひまする。それで一家の主人が注意して成るべく地圖と接近する方法を作らねばなりませぬ。例へば商家ならば自家の取引先の某は此所であるとか、家の商品は主に此の邊から來るとか、官吏ならば此間出張したのは此の邊であるとか、此の土地で演習をしたとか、又はお前の生れたのは此の町であるとか、主人の心懸け一つで、何程でも機會を作る事が出來るであらうと思はれまする。特に子供が好きな各國の國旗や商船旗などは、日にも夜にも眼に慣れさせて、遊戯の時にも利用させたいものと思ひまする。慾を云つたならば、湯屋にも床屋にも、汽車汽船の待合所にも、會堂、寺院、醫士の玄關、學校の控所、何處でも人の集まる凡ての場所に盛に掛けて置きたいので有りまする。

◉千葉名所（下）

千葉町　照月（投）

三、君待橋

名も優に哀れなる君待橋は、寒川長洲大橋の邊、今は縣道を横斷する最も小かなる石橋なれど、往昔は川の流れ尚廣く、滔々として海に潮し、左右は蟹舍蜒村、人煙稀にして野草人を沒するほどなりしと傳へらる。長さ五尺ほどの小橋にて、其名の斯くも大なるは一奇と云ふべし。傳へ曰ふ、治承の昔、常胤の一族が源賴朝を此橋に迎えたる折、賴朝橋の名を問はれしかば、常胤の季子東六郎胤賴進みて、かく、

見えかくれ八重の潮路をまつ橋や
渡りもあへず歸る舟人

又藤原實方朝臣が陸奥へ下向の際、此處を過ぎ俚人に橋の名を問はれしに、君待橋と答ふ、實方卿懷紙を探りて、

寒川や袖師が浦にたつけぶり
君をまつ橋身にぞ知らるゝ

四、千葉八景

近江八景に倣へてか、古來千葉八景なるものあり。

猪の鼻の秋月　千葉寺の晩鐘
大橋の晴嵐　羽衣松の夜雨
袖思浦歸帆　東臺の暮雪
鮒田の落雁　登戸の夕照

猪の鼻は字市場、千葉寺は字千葉寺、大橋は字寒川、羽衣松は縣廳脇の公園、袖思ヶ浦は字寒川、東臺は字作草部、鮒田は字千葉寺の鮒田池、登戸は字登戸浦なり。

文久年中孤山堂卓郎の八景の句あり、前記と少しく異なれる所あれど參考に資すべし。

▲綿打池落霞
霞引水に聲あり舞雲雀
▲千葉寺の晴花
のとけしや花の隙より釣小舟
▲龜が岡風螢
吹ほころ風あやなして飛ふほたる
▲公待橋涼帆
待橋にすゝ風ばたく歸帆かな
▲亥鼻山望月
月いかに更て見おろす袖ヶ浦
▲千葉神社夕楓
夕つくる紅葉さやけし鐘の聲
▲羽衣松時雨
松が枝に驚いかめしく時雨けり
▲登渡神社雪朝
富士近し晴たり雪の朝ぼらけ

五、羽衣松

羽衣の松

縣廳の公園内羽衣池畔に在る老松なり。樹幹丈許、蟠りて地に臥し、延て四方に偃蹇す、其の秀靈の氣、瀟洒の體、畫も亦及ばず、千葉八景の一にして其名高し。傳へ言ふ、往昔千葉氏の全盛の時、天女此地に降り舞ふ事久うして其の纏ふところの羽衣を梢上にかゝげ、忽然白雲に駕して去れりと。

六、千葉野

下總和歌名所の一として、萬葉以來屢々題咏に上れる名稱なれど、今果して其何所なるを確知すべからず、去れども下總輿地全圖には『萬葉集千葉野今稱六方野』とあり、蓋千葉印幡葛飾三郡の間、原野曠渺、古は之を總括して千葉野と云しなるべし。萬葉集に、

幾代經しこの手か
しわや千葉の野に
ふた面なき君をし
たひて

七、御殿址

御殿址は今の千葉地方裁判所のある所なり。按ずるに天正年中德川家康の築きし館址にして、當時家康數々上總の東金町に至る毎に宿泊するが爲、旅館に充しものなり。時人之を稱して御殿と言へり。

抑々家康の此地に旅館を設し所以のものは、延元朝の名臣藤原藤房卿の弟秀房の孫にして、僧となり當地來迎寺（今猶存す）の住持たりし滿譽尊照大僧正を慰問せんが爲め數々訪問し、又或時は伽藍を修理し、或時は更に道場を建て、彌陀を安置し、法話を聽問せしを以て一時甚盛なりしが、僧正の寂滅に次いで祝融の災あり家康の建造物は擧て烏有に歸せり

嫁入道具
京都夷川堺町
宮崎タンス
電一八二〇番

友の信

『郵便……福岡さん……』と郵便脚夫は一通の封書を投込んで行つた。發信者は福岡の親友太田實である。親展とは如何なる要件であるかと、取敢ず封を披いて讀み下せば

（前文略）偖小生の愚妹園子儀は貴兄も御存の如く性來非常の赤毛にて當人と共に一同心痛致居候處此度不圖した動機より日本橋區通鹽町服部松榮堂と申商店より發賣の千代ぬれ羽と稱する赤毛白毛染にて染毛致させ候處不思議にも艶麗敷眞黑の毛髮と相成家族一同大に打喜び申候就ては貴兄の御令妹も豫て愚妹同樣の赤毛にて御心痛の由にも承り居候故右千代ぬれ羽を御試用相成候ては如何と存じ候儘此段一寸御知らせ申上候云々。

とあつた、如何にも其心切が筆紙に表れ、殊に其効驗の著るしきを認めたといふので福岡は一點の疑惑を挾さむべき筈もなく、深く其信を陳謝して、早速自分の妹梅子にも千代ぬれ羽を使用させて見ると、成程是まで苦に病んで居た赤毛が、忽ち眞黑になつて其嫖量が幾層倍も美しくなつた、ツマリ千代ぬれ羽のお陰で二美人が出來あがつたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●有功章贈與

功績及金五十圓寄附に依り二等有功章贈與

青森支部評議員 上田なか子
同 同 北谷とよ子
青森支部 中村すゑ子
同 田中みゑ子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與（以上十月十五日）

福島支部耶麻郡幹事部幹事 原八重子
同 同 相馬まさ子

功績に依り三等有功章贈與

福島支部耶麻郡幹事部幹事 甲斐きい子

功績並金五十圓寄附に依り二等有功章贈與

福島支部耶麻郡幹事部幹事 金田とみ子
同 同 阪とみ子
同 同 長島ぶん子
同 同 佐藤いち子
同 同 篠塚栄子
事務員 猪狩忠人

功績に依り三等有功章贈與（以上十月十七日）

長野支部上伊那郡幹事部 武井しげ子
同 赤羽けさゑ子
同 上島ちよ子
同 代田とみ子
同 福澤ひさゑ子
同 北原しま子
同 小池たか子
同 竹村たゑ子
同 前澤千濱
同 林やゑ子
同 池上てい子
同 前田きゆう子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與

長野支部上伊那郡幹事部 松田きみこ
同 矢島しなほ
同 新井みちゑ子
同 阿部みち子

功績に依り三等有功章贈與

長野支部 北原吉次

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與（以上十月十七日）

廣島支部呉市幹事部幹事部長 澤原こと子

功績に依り特別徽章贈與

廣島支部呉市幹事部幹事 桐山さだ子
廣島支部 澤原俊雄

功績に依り二等有功章贈與

廣島支部呉市幹事部幹事 藤崎道子

功績に依り三等有功章贈與（以上十一月一日）

同 山本すみ子
委員 船岡ひさよ子
幹事 林美壽子
委員 青木りせ子

●謝狀贈與

扇子一本 婦女鑑一冊 福島支部耶麻郡幹事部幹事 小山かつ子
同 同 長島つね子
同 同 大波つや子
扇子一本 同 同 瀨野つね子
同 同 三浦よし子
同 同 和田しつ子
同 同 冠木なを子
同 同 眞壁かつ子
同 同 岩田よし子
同 同 田代きち子
同 同 大竹まつ子
同 同 原平藏
同 同 阪武
同 同 武藤平學

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與

福島支部耶麻郡幹事部幹事 矢島きみ子
同 同 長澤いよ子
同 同 原きく子
同 同 手代木むよ子
同 猪狩さた子
福島支部 佐原しん子
同 道藤きさ子
同 村岡みね子
同 安倍みつ子
同 大竹ゆり子
同 手代木なか子
同 武藤すみ子
同 新井よね子
同 齋藤とく子
同 石川源太郎
同 齋藤丈夫
同 佐原正一
同 矢部久平
同 高畑恒三郎
同 酒井喜逸
同 伊藤仁五郎
同 田中六郎
同 瀨名市太郎

功勞に依り第二種謝狀贈與

福島縣 喜多方町婦人會

木盃一組

金百二十圓福島支部耶麻郡幹事部總會費の内へ寄附に依り特別謝狀並に頭書の通り贈與（以上十月十七日）

金十圓 福島支部耶麻郡幹事部 長島ぶん子

右福島支部耶麻郡幹事部總會費の内へ前書の通り寄附に依り謝狀贈與（十月十一日）

金三十圓 長野支部上伊那郡赤穗村 原やそ子

同 同 小出よし子
同 同 下村よね子
金二十圓 長野支部上伊那郡西箕輪村 重盛はる子
同 同 南箕輪村 松澤しげ子
同 同 中澤村 坂井つぎ子
同 同 宮田村 埋橋そで子
同 同 朝日村 三輪槇野子
同 同 同 有賀りよう子
金三十圓 同 伊野町 米山ひさ子

功勞並頭書の通り寄附に依り特別謝狀及扇子一本贈與（以上十月七十日）

●教養所記事

▲會長に寫眞を呈す● 阿部會長より昨年度並に本年度に於て中央幼年學校に入學したる教養生の寫眞を豫て所望ありたるより一同を集合して撮影の上會長に呈したり。

▲所長の歸朝● 目下海外旅行中なる教養所長文部省視學官文學博士幣原坦氏は近日歸朝の筈

▲奥村敏子氏の講演● 本會主唱者奥村五百子刀自の長女奥村敏子女史は去る十月七日教養所を參觀し兒童に對し熱誠なる一場の講演を試られたり。

●彙報

▲阿部會長の出張● 會長阿部伯爵夫人は、十月二十九日開催の長崎支部第五回會員總會へ臨席の爲め、理事丹羽前子爵夫人同伴事務員を隨へ、去る十月二十六日午前八時三十分新橋を發せられたるが、同二十八日無事長崎着、翌日總會に臨席三十日を以て歸東の途に着かれ、途中序を以て本日開催の廣島支部呉市幹事部總會及來る三日開催の同支部深安郡幹事部總會へ臨場して來る六日午後八時三十分新橋へ歸着せらるゝ筈なり。

▲祝電● 去る十月八日開催の朝鮮本部木浦委員部會員總會、同じく十七日開催の同群山委員部會員總會、同日開催の福島支部耶麻郡幹事部會員總會、同じく二十二日開催の朝鮮本部鎭南浦委員部會員總會及同二十八日開催の愛媛支部越智郡幹事部會員總會に對し各部長宛、會長より祝電を發せられたり。

▲理事會● 去月十一日午後一時より本部樓上に於て理事例會の開催あり、濱尾副會長、三輪田眞佐子、有島幸子、棚橋絢子、關郁子、高木鏻子の各理事出席會務上の件に付き種々協議ありたり。

▲評議員會● 去月二十五日午後一時より評議員例會の開催あり、種々協議ありたるが、當日出席の人名左の如し。

阿部會長、濱尾副會長、三輪田、關、高木、山脇の各理事、井伊常子、細川同子、戸田時子、押川愛子、岡田徳子、渡邊源子、龜井眞洲子、鍋島易子、柳谷千代子、松村琴子、松崎悦子、佐方鎭子、菊地成子、三井照子、下岡松子、仁杉歌千の各評議員

尚又同日は中川女子高等師範學校長の有益なる講演ありたり

▲第二回臺灣討蕃隊員へ寄贈慰問袋聚集● 去る二十六日迄に到着の分左の如し。

栃木支部	金八十四圓（第一回追加聚集の分）
沖繩支部	金百六十二圓
大阪支部	金百八圓
鹿兒島支部	金六十一圓五十錢
北海道支部	金八十六圓
山口支部	金百六十三圓四十五錢
函館支部	金三十六圓七十五錢
富山支部	金四十六圓四十二錢五厘
千葉支部	金百十五圓三十二錢五厘
山梨支部	金百十一圓二十五錢
奈良支部	金五十七圓八十五錢
岡山支部	金百十七圓二十九錢
和歌山支部	金七十六圓四十錢
福岡支部	金百二十五圓十錢
山形支部	金十六圓二十五錢
京都支部	金百三十二圓二十五錢
靜岡支部	金二百二十二圓六十錢外現品四個
石川支部	金百二十一圓四錢外現品四個
福井支部	金百四十七圓十錢
本部直接分	金四十五圓八十六錢
	計金一千九百八十四圓八十四錢

地方記事

京都支部

▲洗濯講習會● 京都支部に於ては講師高山繁氏を招聘し同支部内にて去る十月十一日より同二十日迄十日間洗濯講習會を開催したるが講習員三十五名にして非常の良成績を以て終了したり。其の講習規則左の如し。

●洗濯講習會規則

▲要目● 洗濯の部

一、ハンカチーフ、敷布、足袋、西洋前掛、夏服白、チョッキ、綿ネル、メリヤス襦袢。

一、テーブル掛、生木綿晒、中形木綿、色拔、白木綿に茶、コーヒー、醬油、汗泥、血などの附着せしもの拔方。

一、鏝かけ、糊つけ、白羽二重、白縮緬、紋羽二重、綾子、斜子、八ッ橋、紋縮緬、白モスリン、フランネル、セル、白毛糸肩掛、鏝掛け、仕上げ迄、

一、瓦斯縞、二子縞、浴衣、銘仙、糸織仙臺平洗ひ方、ミシン張、同目けし、鏝かけ、同上仕上げ、

一、木綿絹及毛に附着せし鐵さび及墨、紫インキ、青インキ、玉子、砂糖、味噌、黒インキ、

一、大島紬、飛白及花色絹洗濯法、絹縞物湯通し、ペンキ、コールター及松ヤニのシミ拔、

一、洋服衿あか落し、洋服に附着せし醬油、酒、バタ、汗を取る法、洋服上着及ヅボンの皺延鏝かけ、

一、友禪縮緬衿洗ひ方及縮緬物の始末及繻子、以前に洗ひたる縮緬物仕上げ湯熨、黒繻子のホシ拔、シルクハット手入法、

●染物及糊入物洗濯の部

一、木綿裴地等無地色上げ、木綿ツマミシボリ各色染方（機械シボリ）

一、モスリン、カシミヤ袴地毛織物肩掛の類、色上げ及染方、モスリンツマミシボリ染方、

一、モミ裏地色拔及染方、羽二重、モスリンのヌイシボリ及色入シボリ染方、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、紋染拔法、但しふくさ地、
一、縮緬羽二重等の帶上げ及フクサに金銀つけ方、紋付の紋を白く洗ふ法、洗濯シミ拔及染物に關する注意、
一、ホワイトシャツ、カラー、カフス洗濯及糊つけ迄、
一、ホワイトシャツ、カラー、カフスの仕上迄、

靜岡支部

▲懇親會及委員部總會　靜岡支部管內田方郡田中村に於ける愛國婦人會員は幹事部委員管沼莊治、同村有志穗積六亮、同村小學校長靑木松、幹事渡邊くに、同穗積ふさ子其の他諸氏の盡力に依り本會の趣旨を貫徹せしむる爲め特に同村會員中に三十七名の委員を設け過ぐる四十年四月同村第一回會員總會擧行以來多少の支障ありしに拘はらず漸次順潮に發展をなし今は會を重ぬること十回恰も五週年に達したるは委員諸氏の勞多しとなし慰勞會開催の議ありしも經費上已むを得ず其の計畫を變更し會費自辨を以て懇親會を開催する事に決し九月十七日午前十時田中小學校に於て開會出席員三十人にして淸楚なる晝餐會に過ぎざりしも村內各區婦人が一堂に會して懇親會を催したるは同村に於ける一新事例にして從て其の效果の推想せらるゝものなりき。

尙當日午後一時より懇親會に引續きて第十回總會を開く出席會員百五十五人にして招待來賓には村會議員、軍人遺族等あり、式は君が代の唱歌に始まり田中小學校長靑木松氏の戊申詔書捧讀、會計主任穗積六亮氏の會務報告、幹事部委員管沼莊治氏の演述あり一先づ閉會、次に靑木田中小學校長及山口並山小學校長の講話あり終て茶菓を供し福引蓄音機等の餘興ありて午後六時解散せり、因に同村會員は會費に充つる爲め一人に付き毎年金二十錢を醵出し其の他篤志者の寄附に依り軍人遺族の災害に際しては其の都度相當の見舞金を贈與し又會員中死亡者あるときは香花料及弔詞を贈り或は軍人へ慰問袋の贈與をなす等延て村內各種の事業上良好なる效果を及ぼし其の成績の見るべきもの尠からず。

石川支部

▲年醵金徵集法　石川支部に於ては本會年醵金の徵集法を改正し來る明治四十五年一月一日より集金郵便振替貯金拂込規則及び郵便振替貯金の方法により徵集する事となせり。

▲會務上の協定　去る九月二十三日赤十字社石川支部內に於て支部長、支部副長、評議員及金澤市幹事集合し支部の直轄なる金澤市內に係る會務上左記の事項に關して協議をなせり、當日は支部顧問も特に臨席せられたり。

一、既往に於ける滯納會費は本年中に整理を遂ぐる事
一、會員中退會死亡又は轉出等の爲め會員數漸次減少するの傾あり、又會費殘額を一時に納入し或は醵出年限を了へ終身會員となるもの多きを加はるに至るに依て漸次新會員を募集する事
一、幹事の擔任すべき事項の槪略左の如し。
一、受持區域內會員に對しては會費を怠納せざる樣懇篤勸誘する事。
一、郵便官署に於て集金不能に係る會費集金の事。
一、會員中移轉の者あるときは其行先を支部へ通知する事。
一、會員中死亡者ある場合は之を支部に通知し吊詞等を遺族へ傳達する事
一、遺族及廢兵の生活狀態を視察し其救護を要する者は氏名を支部へ通知する事。
一、遺族及廢兵中移轉の者あるときは其の行先を支部へ通知する事。
一、會員に周知せしむる事項の生じたる場合之が通知を爲す事。
一、其他臨時支部より依賴する事項を處理する事。
一、本會の普及と會員の懇親を計らんが爲め年一回會員の集會を催す事。

▲臨時救護　臺灣生蕃討伐に從事中戰死したる左の遺族に對し吊詞並に臨時救護金を贈與せり。

石川縣野々市村
臺灣總督巡査塚本伊三郎寡婦　塚本　ひさ

愛媛支部

▲一本松村總會　愛媛支部南宇和郡幹事部管內一本松村に於ては去月十日午後二時同村役場內公會堂に於て會員總會を開催したるが來會者六十餘名、幹事部より幹事部長、顧問及事務員二名列席、幹事部長は告辭を朗讀し顧問は本會の趣旨及び事業に關し一場の講演を爲せり、式終りて折詰を配付し福引の餘興あり且つ幹事部より携帶の蓄音機を使用し和氣洋々の樂あらしめたり、由來同地方は婦人の會合する機會甚だ稀なるを以て一同大に滿足の意を表し午後六時退散せり、又式場に於て支部よりの祝電を披露し、本年度定期救護金の交付式をも倂せ執行せしが被救護者及會員共大に感動せしものゝ如くなりき。

島根支部

▲軍人遺族優待　十月五日午前十時城山天主閣紀念碑前に於て第三回松江招魂祭を擧行され平賀陸軍步兵少佐外千百七十九名の英靈を祭られたるに付き當日島根支部に於ては軍人遺族優待の爲め式場附近なる本縣師範學校附屬小學校內に接待所を設け高岡支部長、錦織、岡崎の兩副長及伊藤、白川、石黑、田村、佐藤、內田、鯉沼、熊谷、向坂の各評議員、杉江、三谷、原、靑戶の松江市各幹事並に井上八束郡幹事等出席交互斡旋し參拜の遺族を慰め種々の便宜を與へ參拜者四百八十人に對しては特製の菓子折を贈與し丁寧に待遇したり。

宮城支部

▲終身會員認定並新入會員協約狀傳達式　愛國婦人會宮城支部仙臺市幹事部には去る十月七日午前十一時より公會堂に於て終身會員認定狀及新入會員協約狀傳達式を擧行せるが寺田顧問以下來賓一同の着席にて式を開始し先づ特別終身會員六十七名及び通常終身會員百十名に對する認定狀及び紅組を授與し次に特別新入會員十五名通常同會員十七名に對する協約狀及徽章を授與し終りて寺田顧問は會員の心得べき諸般の訓示を與へたる後ち昨年の本縣水災害に就き寄附者五百名に對する賞品及賞證を授與し終りて會員一同の懇親會に移り宮城幹事は會の狀況に就き述ぶる處あり夫れより種々の餘興等ありて和氣藹々の裡に午後三時過ぎ散會したり。

北海道支部

▲伊達村會員總會　北海道支部管內伊達村會員總會は、すぐる十月十七日秋季皇靈祭當日を以て伊達男爵邸に於て開催せらる當日は日本晴れの好天氣にて日章旗の輝き邸內の綠葉と相映じ一層の榮あるを覺ゆ午前十一時一同着席するや川西幹事會務を報告し次に伊達男爵は室蘭御旅館對泉閣上に於る御陪食の光榮並に奉送迎當時の光景を詳細に物語られ會員一同恐感恐喜交々至りぬ顧みれば我が伊達村の最大光榮は全道第一と稱するも可ならむか東宮殿下室蘭御駐蹕の日は特に甘露寺侍從を派遣せられ御代覽の光榮を辱ふし開拓功勞者として田村顯允には昇位の御沙汰を蒙むり更に畏くも伊達男爵御陪食の當夜故男爵邦成氏の開拓事蹟を詳細取調べ差出せよとの臺命を蒙りし等村民一般感涙に咽び合へり男爵の談話終り餘興福引に移り和氣藹然の裡散會せしは午後四時なりき。

兵庫支部

▲戰病死兵士追弔法會　本年は二十七八年の役戰病死者の第十七回忌三十七八年の役戰病死者の第七回忌に相當せるを以て、去る十月五日、兵庫縣印南郡阿彌陀村淨土宗禪林寺派時光寺に於て兵庫支部印南郡幹事部主催追弔法會を執行す、式に參列せし寺院住職二十八名、午前十一時奏樂と共に僧侶入場燒香の後、堀江幹事部長の祭文朗讀あり次に讀經の間來賓並に遺族の燒香あり正午式は最も嚴肅に終を告げ、遺族感喜の狀場內に滿てり、式後堀江顧問より本會の趣旨を說示し、尙特に招聘せし縣下神崎郡船津村西勝寺住職後藤葆眞師の講話あり、大に參拜者に感動を與へたり午餐後遺族並に會員慰藉の目的を以て蓄音機、琴、尺八の合奏を催せり、當日來賓として參列せしもの在鄕帝國軍人會分會長警察署長、郡內各村長、遺族廢兵にして總數百六十五名、又會員の參拜せしもの三百三十名にして頗る盛會なりき而して僧侶並に來賓を始め會員には午餐と煎餅とを供し遺族廢兵には外に供物を配與せり。

愛國婦人第二百三十六號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

來る明治四十五年一月一日號發表の歌題並俳題は下の如く定めまして特に和歌は坂、佐々木兩先生に御選を煩らはす事に致しますから〆切期日に遲れぬよう續々[illegible]を祈ります

▲歌題（新年）山＝阪正臣先生選
若水、門松（以上の內隨意）＝佐々木信綱選

▲俳題　初夢、初[illegible]＝鳴雪先生選

▲〆切十二月五日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

来る明治四十五年一月一日號發表の歌題並俳題は下の如く定めまして特に和歌は坂、佐々木兩先生に御選を煩らはす事に致しますから〆切期日に遲れぬよう續々御投詠を祈ります

▲歌題
新年山＝＝阪正臣先生選
若水、門松＝＝佐々木信綱選

▲俳題
初夢、初鷄（以上の内隨意）＝＝鳴雪先生選

▲〆切十二月五日

菊の歌

文學博士　佐々木信綱

菊の花を詠じた和歌は、奈良朝以前には一つもない。平安朝に入つて始めて典籍に現はれた。而も吾國に於て始めて菊の歌を詠まれたのは、吾國の帝王中の英傑にて在はす桓武天皇で、平安京へ遷都の後、延暦十六年十月、宮中に宴會の開かれた折の御製である。

この頃のしぐれの雨に菊の花ちりぞしぬべきあたらその香を

折柄の時雨に、菊の花のいろのうつろふを惜みて詠ませられたものである。これが菊の花が和歌に現はれた最古のものである。後の選集に、聖武天皇の御製として出て居る菊の歌は、その時代の歌風とは全然違つて、後世のものである。

桓武天皇の御製に次いでは、同じく平安朝の初期に出た『伊勢物語』の中に菊の歌がある。宇多天皇の寛平年中には、九月に菊合が行はれた。當時は歌合を始め女郎花合、菖蒲の根合などかういふ類ひの遊樂が屢々催された。菊合なども、さういふ遊びの一つで、洲濱といつて島臺のやうな形のものに、菊の花の造花などを植ゑて、之に歌を添へた、そして細工の巧みと共に歌の巧拙をも競つたものである。その中で菅公の歌に、

秋風の吹上にてるしら菊は花かあらぬか波のよするか

素性法師の歌は、

ぬれて干す山路の菊のつゆのまにいつか千歳を吾は經にけむ

などいふのもある。また支那思想の影響をうけて、菊の水に齡を延ぶといふ趣向を歌つたものもあり、又祝賀の意によそへて『萬代の菊のたね』とか『大君のよろづ代までも』など詠んだのもある。次に醍醐天皇の御世に撰ばれた『古今集』には、菊の歌が多數あり、この後はたえず菊の花が歌人の題詠に上つたのである。

之によつて考ふるに、上古奈良朝時代までは、未だ菊の花は無くて、奈良朝の末頃に、始めて菊の花が外國から渡つて來たものと思はれる。これが奈良朝以前にあつたとすれば、春の風物よりも秋の風物を好んで詠じた奈良朝の歌人が、菊の花を歌に上せないといふ譯は無い。萬葉集たゞで一首も菊の花を讀んだ歌を發見しないといふ譯は無いのである。

斯ういふやうに考へて來ると、菊は始めは日本固有の花ではない。外國傳來の花ではあるが、追々日本人の趣味に渾化して、日本の國華と違はなくなり、皇室の御紋章にまで採用せらるゝに至つた。丁度日本人が外國の文化を輸入して、巧みに日本のものにした、その表象と見ても面白い。菊に比べると、櫻花は全く日本の花で、古くは允恭天皇の御製にも、『花ぐはし櫻のめで』といふやうな歌があり、この方は純粹の國民性の文化を表象して居る。即ち春の櫻は日本固有の文化、秋の菊は外國傳來の文化、兩々相對して渾然たる我國の文化を象つて居るといふのは、大に興味ある事と思はれる。

菊の花うゑたるやとのあやしきは老てふことをしらぬなりけり　貫之

ぬれてほす袖の月かけふけにけりまがきの菊の花のうへの露　鎌倉右大臣

●來月〆切詠題（欄外並に次の頁に在り）

和歌

▶月前秋風◀　佐々木信綱先生選評

天　月きよみ水上遠く秋風に送られ出づる歌人の舟　麻布　浪子

（評）もろこし人の赤壁の遊びも忍ばれて雅趣羨むべし。

地　望の夜の月をまつるとさゝげたる床のすゝきに秋風ぞ吹く　豐橋　悦子

（評）お團子をよろこぶ妹弟たちの笑顔も思はる。

人　夕月の影淡くして野の道のつゆひやゝかに秋風ぞ吹く　横濱　らく子

（評）平淡なる趣なつかし。

秀逸

月きよく風きよかなるこの宵はわが涙まで清うながるゝ　相模　加藤李花子

さえわたる月の光りに端居してかく歌ほくに秋の風ふく　芝　中隈富士子

うしひきて家路にかへる夕月夜いなはゆたかに秋風そふく　岡山　西村長子

月清みなびく穗浪に秋風のゆくへまもりてもの思ふわれ　千葉　倭文子

月かげに花かとみえし露ちりて秋風そふくにはのはぎ原　岩手　渡邊豐惠子

すゞ蟲の聲のしらべもとゝのひて月てる野邊に秋風そふく　岡山　西村清子

すみ渡る月に浮れてそよろ／＼芒とひ寄る秋風男　岩代　長谷川吉野子

秋かせに山田の穗波かけゆれてみわたすかぎりてる月夜哉　赤坂　清水まつ子

世はしつかくまなき月に蟲なきて身にしみわたる秋の夜の風　牛込　杉中春子

友なくてひとり月見る旅宿に淋しくも吹く秋のさよ風　岡山　墨江幸子

かけきよき月の光りに見ゆるかな尾花をわたる風のすがたの　日向　河野登久子

月かけはのきばにさして庭もせのいさゝむら竹かせそよくなり　愛知　岡部廣子

かれ／＼の蟲の音細く月高く風がもてくる秋のいたまし　千葉　小出つる子

遠きぬた風のまに／＼流れまて心すみゆく月のかげかな　同　小川世起子

外國の兄君の上思ひわびながむる月に風冷やけき　本郷　中村えい子

佳作

秋風に合はす隣の笛の音も今宵の月に思ひまさりぬ　横濱　鈴木伊都子

うちつけに端居のたもととふものは月まつ宵のはつあきのかせ　北海道　五十嵐やす子

こゝろなく秋風立ぬしかすかに空たのめなる月は宿れと　神田　伊藤美野子

露むすぶ池のはちすに月てりてはま松風の音そきびしき　失名氏

小夜ふけてくまなく照す月かけに松吹く風の秋はさびしき　千駄ヶ谷　石川治子

冴渡る月を淸しと鳴きしきる蟲の音ゆうに秋の風吹く　岡山　森島古野子

もれいでし月の光も哀れにてみにしむばかり秋風ぞふく　横濱　鈴木まつ子

わかゝほを青くてらせる月のよに哀れをそへて秋風そふく　同人

さやかなる月に涙をみせしとてかくすたもとに秋風そふく　同人

すむ月に出水の跡のものさひてやれし芋葉に秋風のふく　播磨　長田あき子

秋風の月にゐかける幾雲は又一しほのながめとぞ思ふ　石巻　吉田とき子

秋風に雲はのこらて三笠山峰わけのほる月のさやけさ　牛込　白菊子

蟲の音はしばしとたえてさやかにも月すむ夜中に秋風の音　豐橋　平松いと子

秋風の涼しさ添へて照る月にれやの戸さしのなしまろゝかな　大阪　室谷ひさ子

月影も今夜はきよく澄み晴れて門田さは／＼秋風の吹く　靜岡　鈴木根子

月すみて小琴しらふる高殿にあはれをそへて秋風そ吹く　丹後　松浦珠美子

てる月の光りにそよく風の音は秋の夜すから吹しきるなり　備中　林秀子

秋風はひゞぬ鳴子に音つれて稻葉をてらす月のさやけさ　豐橋　山内經子

さやかなる秋のも中の月の前に雲吹きはらふ風そうれしき　京都　難波巨久子

物ことに變らぬものは山のはの月にうかるゝ萩の上風　日向　山下雛子

すみわたる月の光に秋風の豐けきためしあらはれにけり　同　山下むら子

さえ渡る月に流るゝ里川の水音さむき夜半の秋風　神奈川　足立原とく子

風そよく山田のいなほゆたかにて心すみゆく秋の夜の月　同　足立原政子

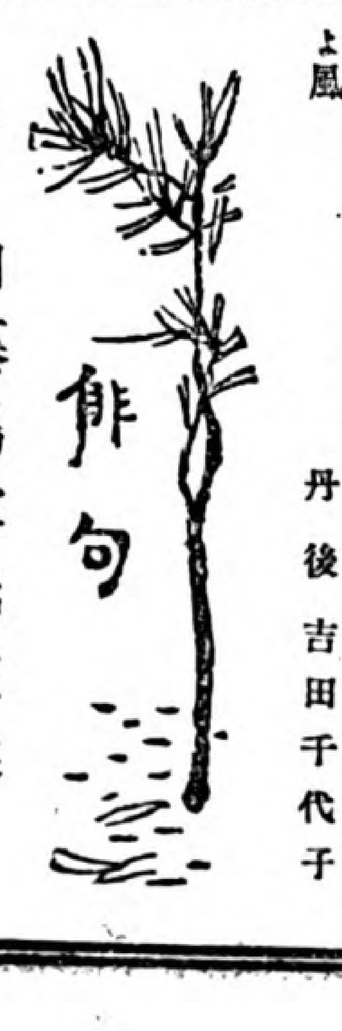
千町田のいなはのそよきなつかしき秋のつきよのかぜのすゞしき　岐阜　野村なか子

秋かせに通ふしらへは琴の音か月もしばしは行なやむらん　芝　土師利根子

野分ふく風のゆくへの見ゆるまでさやかにてらす秋の夜の月　京橋　宇佐見こま子

桐一葉見る月隱す宵の空吹く秋風に軒に懸れり　愛知　宮田いそ子

さやかなる月の光に見ゆるかな門田をわたる秋のさよ風　丹後　吉田千代子



俳句

內藤鳴雪先生選

天　ふいと出て空見る人や暮の秋　神田區五軒町二〇　伊藤喜努子

地　灯は白う鹿の角切る秋ふけぬ　岩代國柳津　小川しん子

人　せはしなの砧の音や秋行くを　豐橋市旭　市川みとり子

佳作

○人は皆詩に痩せたりな暮の秋　愛知　岡部ひろ子

○雁の竿立派に渡る月夜哉　豐橋　都築悦子

○蟲二ツ名はアリヤコリヤと成りにけり
小說をひとり物する夜長かな　愛知　青井やす子

○漕ぎ出てゝ吹く風寒し渡し船　同　宮田いそ子

○鈴の音に寄る里の子や一夜酒
山越して沼に落ちたる雁の聲　岩代　小川しん子

○萩の屋に灯はあか／＼と夜のながき
隣には藥音に立ち夜長かな
猿ひきの笠の破れや秋暮るゝ　福井　三谷貞子

○蟲賣りのとぼ／＼戻る闇路哉
徒然草繙く窓や蟲の聲　同　三谷ひろ子

○城跡や昔ながらの草の花
蟲聞きて嵯峨の月踏むひとり哉
乳母が家に假れせし夜や遠砧　本郷　中村えい子

○遠江田に矢の如く飛ぶ鴫かな
其宵に月照る雁の低さかな　神田　伊藤みの子

○山番のじよさいなくうつきぬた哉　神田　伊藤きぬ子

○田の中や鴫取り居る惡太郎　飛驒　田中秋子

○雁飛んで君は都を出られけり　岡山　西村長子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

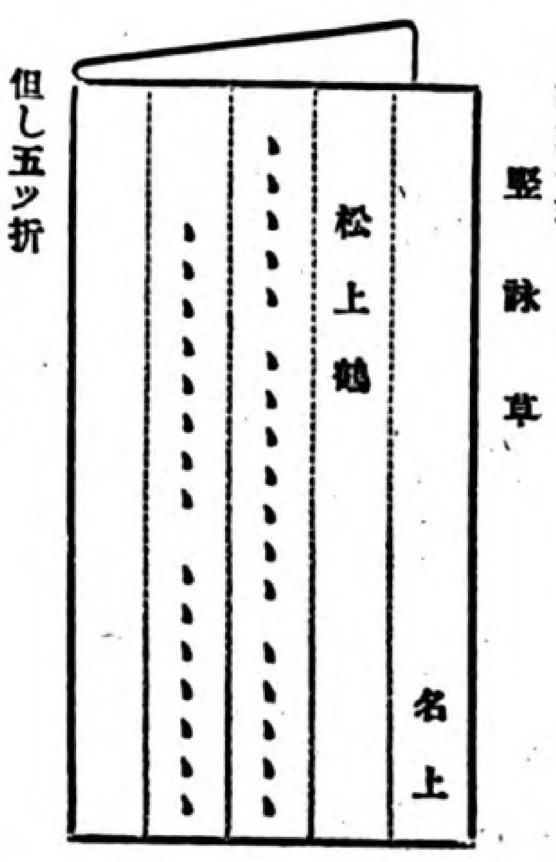
宮中歌御會始御題

明治四十五年一月十八日宮中鳳凰の間に於て行はせらるべき新年宮中歌御會始御題は高崎御歌所長より畏き邊りへ伺出で置きたるが愈々去十九日を以て左の通り仰出され締切其他詠進書式等發表相成りたり。

御題 松上鶴

一料紙は奉書杉原又は美濃紙を用ふ
一詠進締切は 明治四十五年一月十日迄に宮內省御歌所に差出すべし
一詠進書式

竪詠草



但し五ツ折

裏面書式

某府縣下某國某市某町村住
華士族平民
苗字名

官位勲功爵を有する者は苗字の上に記載すべし

尚ほ子爵東坊城德長、宮地嚴夫兩氏は奉行仰付けられたり

詠進歌を取次ぐ

來る明治四十五年宮中御歌始會の御題は前項記載の如く

松上鶴

と仰出されたるに就き本紙愛讀者諸氏の御便宜の爲め例年の如く當發行所に於て取纏め囑託選者の豫選を經て淸書の上宮中へ差出可申に付御希望の方は半紙に住所姓名族籍等を明記し來る十二月十五日迄に當發行所宛御出詠相成度候也

愛國婦人發行所

皇后陛下芝離宮にて管絃樂を聽かせらる

皇后陛下には秋晴の好天氣なる去廿四日を以て豫て仰出されたる如く午後一時御出門高倉典侍御陪乘、園權典侍、吉田權掌侍、西命婦、香川皇后大夫、山內皇后宮主事、高田侍醫其他供奉御順路を經て芝離宮に行啓管絃樂を催はされたり、之より先き當日御召しの光榮を荷ひたる從二位伯爵大原重朝、從二位子爵園池公靜、從三位子爵藤井行德、同唐橋在正、同大宮以季、正五位金子有道、從五位大原重朝、樂長東儀季熙、同芝葛鎭諸氏は樂師多忠廉、同上眞行、同東儀俊儀、同多忠龍、同多忠基、同多忠功、同多久毎同辻英吉、窪兼雅諸氏は先着して諸般の準備に着手し聽て午後一時二十分頃御着輿遊ばされ前記諸氏の奉迎を受け香川大夫の御先導にて離宮日本館の便殿に入御ありて御休憩あらせられ供奉の方々を隨へて演奏場に臨御玉座に著かせられ順次管絃演奏を聽召し給り其の曲目左の如し

管絃曲目

一越調 音取
迦陵頻急
胡飲酒破
酒胡子
郢曲
新羅陵王急
殘樂三返
紅葉

演奏の舊堂上華族並に樂長樂師は何れも歷世傳家の樂人として斯道の達人を以て世に推重されつゝあるにより如何にも神々しく陪聽の諸員孰れも感嘆したるが其間陛下には始終御熱心に御傾聽あり頗る御滿足の御樣子にて演奏後參列員の最敬禮を受けさせられつゝ便殿に入御暫時御休憩の後四時過ぎ還啓仰出されたり

雲井の御影

▲十月一日(日) 故梨本宮修親王第三十年御式祭執行に付 聖上陛下より祭粢料金一封御下賜めり。

▲同 二日(月) 北海道行啓の爲め御延期あらせられたる東宮殿下第三十三回御誕辰祝御執行あり ◎臨時外相林伯爵參內伊土開戰に付委細奏上す。

▲同 三日(火) 梨本宮同妃殿下御先代御式年祭執行の爲め京都御成。

▲同 四日(水) 朝鮮總督府會計課長兒玉伯爵夫人が李王妃殿下に日本語を御教授申上し功を思召され皇后陛下より同夫人へ御恩賜品あり。

▲同 五日(木) 東伏見宮殿下葉山より御歸京 ◎閑院宮殿下習志野御出張 ◎故中山一位局四周年祭

▲同 六日(金) 今回轉任せし米國大使オブライエン氏に對し御 聖影御下賜あり ◎竹田宮殿下長崎より御歸京 ◎梨本宮妃殿下叔母松平侯母堂逝去に付御服喪あらせらる。

▲同 七日(土) 閑院宮殿下習志野より御歸京 ◎伏見宮妃殿下大日本婦人衞生會總會御成。

▲同 八日(日) 三皇孫殿下玉川鮎御獵 ◎東伏見宮殿下葉山より、閑院宮殿下上州磯部より御歸京。

▲同 九日(月) 閑院宮殿下習志野御出張

▲同 十日(火) 兩陛下より暴風被害御救恤として朝鮮總督府へ御下賜金あり ◎東宮妃殿下御全快御祝宴を開かせらる ◎閑院宮殿下御歸京。

▲同十一日(水) 東宮妃殿下御病氣御全快御祝御內宴を開かせらる。

▲同十二日(金) 竹田宮殿下習志野より御歸京、

▲同十四日(土) 宮崎縣下暴風雨被害御救恤金の御下賜あり ◎閑院宮殿下赤羽工兵大隊御檢閲。

▲同十五日(日) 東宮殿下特別騎兵演習及海軍聯合小演習御見學の爲め御西下名古屋御成 ◎朝香宮第一王女紀久子殿下初御參內遊ばさる。

▲同十六日(月) 京都在住華族總代六條子爵に對し御下賜品あり。

▲同十七日(火) 神嘗祭御親祭宮中賢所にて執行はす

▲同十八日(水) 臺灣暴風雨被害御救恤金五萬圓御下賜あり。

▲同十九日(木) 北白川宮大妃殿下葉山御成。

▲同二十一日(土) 東伏見宮殿下葉山より御歸京 ◎朝香宮、東久邇宮、久邇若宮三殿下京都御成 ◎伏見宮殿下横濱根岸競馬會御成 ◎日野西侍從を大日本漆工競技會展覽會へ差遣はさる ◎李王世嗣殿下御誕辰、

▲同二十二日(日) 泰宮內親王殿下鎌倉御用邸御成同日御歸京 ◎梨本家殿下名古屋より京都御成

▲同二十四日(火) 皇后陛下芝離宮行啓管絃樂を聽かせらる ◎東伏見宮殿下御歸朝御披露會 ◎久邇宮御先代宮殿下二十年御式年祭。

▲愛國文苑▼

◎和歌 坂正臣先生選
磯千鳥(十二月十日締切) 古松(十二月廿五日締切)

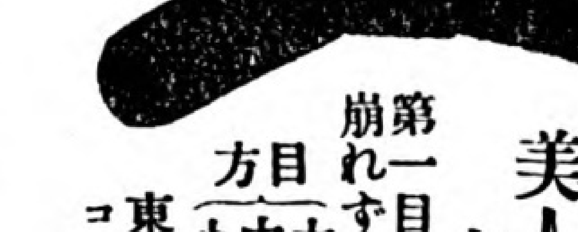
◎和歌 佐々木信綱先生選
紅葉(十一月十日切) 初冬風(十一月廿五日切)

◎俳句 內藤鳴雪先生選
衛、紅葉、霜、千鳥、木枯、(十一月五日切以上の內何れにてもよろし)
寒月、埋火、冬籠、山茶花、(十一月二十五日切以上の內何れにてもよし)

▲愛國文苑▼

特許 巴風呂
二十分で沸く
二錢の石炭一くべで費用は五分一
燃料は何でもよし

特許 己式 一分湯沸
半分間で沸く水を差せば差す丈湯となつて出る
東京神田區鍛冶町十九 巴商會


東髮前髮心
新案特許 バリーみやげ
美人印ヘーヤロール
本品の特長
第一目方は極めて輕く形の久しく崩れずして堅牢なる事他に類なし
目方 大 一尺五寸 三匁五分
中 一尺二寸 二匁五分
小 一尺 一匁五分
東京市神田區豐島町 コロップかもじ製造元
田中金三郎
○全國到る處の小物店にあり(振東一八一八八)

DIGESTIN
新消化藥 ヂゲスチン
日、英、米、露、佛、伊、白、印、加、墨、墺、濠、瑞、十三ケ國 政府特許 專賣
▲銀賞牌受領!(日英大博覽會 發明品博覽會 に於て)
本品の特徴は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化血中へ吸收せしむる世界無比の腸胃最新藥なり ▲販賣所は各地藥店にあり (尙ほ詳細說明書は御申込次第送呈す)
發賣元 合資會社 圓城商會 東京市日本橋區本町三丁目

金婚正宗の名譽
愛飲家の福音
畏も御買上の榮を荷へり

名譽附特撰金婚正宗は毫も防腐劑を含有せざる故に日常の飲として衞生唯一の好飲料なり
宴會用御瓶詰あり
瓶詰 箱入
各洋酒問屋にあり
發賣元
神田美土代町二丁目角
豐島屋本店
電話本局 三八八〇 三八八一

ちぢれ毛くせ毛
毛もはへうけあい
二大奇方
本法は女髮結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を恰く滿足せしめたる一現奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ
東京麴町區三番町六七 小林濟世園

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育講談 貞女の一念（四）

眞龍齋貞水

間重次郎光興の御新造は大變なお喜びで他の御家中の人々とは違つて、私等親子は良人が日頃心掛けの好い所から斯様に何不自由もなく暮し居るのは誠に有難いことゝ始終其事ばかりを思つておいでになりました。

すると丁度其年の夏のことでございました、藝州廣島の御城中で大作事がございまして、植木屋六三郎は多勢の職人を引連れまして、廣島表へ是非參らねばならないことゝ相成つたのでございます、そこで六三郎は少々困つたことが出來ましたといふのは今迄間の御新造や御子さんの事を女房は元來勤上りの者ではあり、又職人は口がうるさい、數ある御家中の中で御世話を申して居ること故聞えも惡からうと、女房にも多くの職人にも話をしないで置いた。

ところが今度はどうしても女房に打明けて行かなければならないので六三郎は妻に向つて「おとら」「何だい棟梁」愈々今度出掛けなければならないが、留守のところは何分頼む、御出入さきを失策らねいやうにお前が氣を附けて呉れなくつちやいけない。

「ア、宜いとも棟梁が留守なら妾が能く氣を附けて職人にも間違のないやうにするから心配おしでない、何しろ遠い所へ行くのだから身體を大切にしてお呉んなさいよ」

「それはもう、俺も氣を付ける、就てはおとら手前には初めて話をするが、實は間様には容易ならねい御恩があるから御新造様と坊ちやんの御二方を、御屋敷の騒動の時分から御引取申して牛の御前の横町に家をお持たせ申して御世話を申して居るので、餘り世間へ知れると同じ御家中の方にも何だかいかねいと思ふから、成たけ人の耳に入れないやうにしてたんだ。

「オヤマアそうかい そんな事なら私に話して呉れゝば御機嫌伺に行つたものを、そんなら棟梁、御前の御留守中は寧そのこと家の方へ引取らうぢやないか。

「それは結構だが、職人が多く出入るから失禮でもあつてはいかねえ、マア彼所へお置き申した方がよからう、奴の銀藏をチョイ〳〵使にやるから、奴に案内をさして、お前一寸顔を出して置いて呉んねえ、そして留守中は何分御世話の所を頼むぜ」

「ア、宜いともそんな事なら近い所だから早く御尋ね申すのであつたに、銀藏や御前は間の御新造様の在らしやる所を知つて居るかい

「銀藏、手前乃公が立つた後で御内儀さんを案内して行けよ」「ヘイ畏りました」といふので棟梁の六三郎は跡を女房に頼み、多くの職人を連れまして江戸表を出立致しました。

そこで一日置いておとらは小ざつぱりした扮裝で何か手土産を銀藏に持たせ牛の御前の御住居へやつて參りました。

「ア、此處かい」「へエ此格子を親方が買つて來たんで古道具屋が一分二朱」

「餘計なことをお言ひでない、……御免下さい」ガラ〳〵と格子を開ける。

「入らつしやいまし……オヤ之は銀藏どんでございました」

「エヽ、御新造様、これは内の御内儀さんで」

「オヤそうでございましたか、さあどうぞこちらへ、御上り遊ばすやうに」

「御免下さいまし、御初に御目に懸りますが妾は植木屋六三郎の家内でございます」

「申遅れました、間重次郎の妻、此程は不思議な御縁からいろ〳〵と棟梁の御世話に相成りまして誠に難有う存じます」

「どう仕りまして、届かぬ勝でございまして嘸御不自由でいらつしやいませう、是まで一向良人から話がございませぬので御機嫌伺にも上りませぬで、定めて何とか思召しでたございませう。

「イエどう致しまして、それどころではございませぬ、重太郎おばさんに御挨拶をなさい」悴の重太郎手を支いて御辭儀をする。

「オ、坊ちやんでございますか、御行儀のよいこと」と。

初めは至極よかつたが元來此おとらといふ女は教育のある女ではなし、根が吉原で勤めをしてをりました位でございまして、職人などを捕まへて怒鳴つて居る。時には役に立つが、思慮も分明もない女であるからドウもいけぬ。

▲鷹と鳩　鷹に捕られた鳩が、『他に澤山鳩はゐるのに、何故私を捕つたのですか、』と申しました。鷹は其を聞いて、『他に澤山鳩はゐるのに、何故お前は捕られたのか、』云ひました。

高島平三郎先生著

最新刊

教育に應用したる兒童研究

菊版六百五十頁餘ラフペーパ
總クロース天金箱入（内容詳細は郵券二錢を送れ）
定價金二圓八十錢送料十二錢

本書は我國教育界の泰斗高島先生空前の大著にして各種專門學校中師範高等女學校等の實際家は固より苟しくも女子を有する家庭は此の書によりて理想的健全なる兒童研究の福音に接すべし所說極めて簡易明快何人も面のあたり先生の講演を聽くが如し就中玩具の研究の如きは眞に斯界の新研究として前人未發の卓見に饒めり教育家は勿論家庭の父母は本書に由て胎兒期より揺籃裡に眠る嬰兒或は恩物を友とする幼稚園時代或は義務教育時代にある少年少女或は青春の危期にある青年處女の爲に能く理想的教育を施すを得て眞に學校と家庭とに於ける寶典たるを信ず

發行所　東京麹町二丁目二番地　振替東京二一〇九一四番　洛陽堂

賣捌　東京堂、上田屋、文林堂、至誠堂、東海堂、北隆館、文榮閣、大阪盛文館、京都東枝、久留米菊竹、

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店　麹町區永田町二丁目
乳牛場　豐多摩郡千駄ケ谷町
鈴木牛乳店
電話新橋一九九五
振替口座二四二四

一、弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事解說

清國の騷擾

清國の大騷擾！革命軍大勝利の號外！號外！と號外の鈴の音勇ましく飛びちかいて、湯屋も床屋も電車の內でも、皆この噂で持切つて居ります。讀者諸姉は迅く新聞紙上に依つて其の樣子を御承知の事とは存じますけれども、こゝに少しく今回の騷擾に就て述べる事と致します。

支那といふ國は地理書にも書いてある通りに、支那本部、滿洲、蒙古、青海、新疆、西藏の六部に分れて居りますが、其の住民は又各生活狀態から風俗言語習慣まで異つて居ります。其內で支那本部が一番よく開けて、面積も廣く、人口も支那全人口の九割程は皆こゝに住んで居り、そして人種は皆漢族であります。この漢族は日本の南北朝の時代に、其折の支那の朝廷を滅ぼし國號を明と改めまして、從來三百年程は此の朝廷が繼ぎ、天下は漢人のものでありましたが、德川の三代將軍頃に、漢人が異狄といつて賤しめて居た滿洲人愛新覺羅氏といふのが起りまして、遂に明朝を滅ぼして、國號を清と改め、今の支那朝廷を作つたのであります。で、漢人は大不平でありまして、從來幾度か現在の滿朝を滅ぼして、祖宗の國家を恢復したいと望みて擾擾を起しましたが、皆失敗に終りました。

そこで今度の動亂は其の原因を尋ねて見ると、中々新しく生じたといふ譯では無く、深く遠く基く所があるのであります。その漢人の革命黨が、鐵道國有問題で楊子江岸地方の當局者が、庶民の怨恨を受けて居るのに乘じて多年の宿望を果すは此時とばかりに立つたのであります。由來支那には二十幾個の秘密結社がありまして、其の主張は種々に分れては居りますが、現在の支那の朝廷、即ち滿人の朝廷を滅ぼして了ふ、と云ふ點には皆一致して居るやうであります。この度の騷擾に革命黨の中のどの革命黨が加はつて居るか、それは分りませんが、兎も角或る支那通の人の手に入つたと云ふ、今回の革命黨の主義綱領といふのは、

▲革命黨の主義綱領　支那は世界の五分一を占め物產も土地も豐富なるに今や政府の腐敗の爲に交通機關も發達せず自然世界の通路を塞ぎ財政の不整理も亦影響を世界に及ぼし政治の不行屆は列國の對清策をして皆自衞的ならざるを得ざらしむ斯くの如きは獨り支那の不利たるのみならず亦實に世界平和の大障害なり又北京政府は近頃頻りに憲政實施を唱ふれども眞面目に憲政を行はんとすれば滿漢兩民族に平等の地位を與ふるを要し亦風俗も少數の滿族は勢多數の漢族の風俗に同化を要すべきが是到底現政府の爲し能はざる處なれば假令國會は開かるゝも現政府の手にては到底改革は望まれず是等の理由即ち我黨が革命を企つる大主意なり

といふのでありまして、矢張り滿人を敵とし、滿朝を滅して、漢朝の天下としやうとするのであります。

そこで此の動亂が如何發展致しませうか、將來どうなるでありましやうか、それ等は私共の非常な趣味を以て望んで居る所であります、今日迄の戰況は種々新聞紙上に現はれては居りますが、どれを信じて良いのやら惡いのやらサッパリ不明ませぬ。がドチラカと云ふと革命黨の形勢が宜しいやうです。

▲新婦人秋季淸遊會　秋高く氣淸く落飛んで花よりも紅なる折りから雜誌新婦人に於ては二十日第二日曜日上野國太田町公園に松茸狩の淸遊を催す由にて當日は人員四百名を限り特別仕立臨時列車にて午前七時十分淺草停車場發先方にて幸田博士小波氏嘉悅長谷川女史等の講話並に福引等の餘興あり其他諸種の準備も盛大に用意されたる赴なれば恰好の淸興たるべく會費一圓二十錢希望の方は滿員〆切に達せざる內至急本鄕區龍岡町聚精堂宛申込まるべしとなり。申込期限は來る七日限。

●奸商に瞞着せらるゝ勿れ

藥劑師植木雄飛君の創製に係る專賣特許植木式簡便哺乳器及完全消毒壜が非常なる喝采を受け諸醫學博士の御信用を受け高貴諸邸の御實用を蒙るを羨み種々似て非なる類似品を作り販賣せるものあり誠に卑劣なる奸商の行爲憐れむべしと雖も諸君が之れ等の爲に瞞着せられ不良品を御買取りなき樣願ひます

世の中に哺乳壜、消毒壜等種々あれども專賣特許のものは植木式の者より無之他は皆無權のもの若くは新案登錄（之を奸商中には新案特許と云）ものであります植木式の者は壜に植木製の文字が有且ペーパー貼附しあります故御見違なき樣願ます

御最寄の藥店硝子器店西洋食品店にて植木製の壜と御話しの上御注文願升必他類似品等と違ひ丈夫且つ親切なる構造であり升若し御間合の節品切又は無之時は東京神田乳呑器問屋植木商店へ御注文なされば代金引換なり又は可成御便利を計り急速御送り致します

完全消毒壜　一號（製度付）　二號（無度）

隨便哺乳器　一號參號四號

松印　竹印　櫻印

植木式輕便防腐器（ニッケル製）

特約店　東京本町三丁目森川商店〇東京本石町四丁目外山商店〇東京大傳馬鹽町富山商店〇名古屋京町八神商店〇同美濃文商店〇京都寺町押小路角森藥舖〇九州博多波多江商店

英國製「スワン」石鹸は價安くて品質よく家庭用石鹸として高評盛んなり

定價二個續　一函廿二錢

日本一手發賣元　東京馬喰町　千代田香油本舖　山岸三之助

特許竹中式絲掛付桁臺

○御婦人方の新福音！

弊店發賣のくけ臺は御婦人方の毎日針仕事に縫糸を糸卷に卷き取る時に一々人樣の雙腕を煩はし其上に糸が亂れたり「ヨゴレ」たりするが如き不便更になく御使用後は「ヲリタ、ミ」も輕便で且つ針差しや尺度を自由に「シマイ」得る樣に出來て居りますから一般の家庭用並に女學生諸君の學校用としては輕便此の上もありません。

使用法

此絲掛付桁臺は下圖の如く下部にある二個の絲掛車を絲の輪の長短に依りて「ネヂ」鋲を以て自由に「シメ」絲口を中央にある輪に通して絲卷にまく時は二個の絲掛車は自由に廻轉して他人のお手を煩はさす絲の亂れるが如き心配なく單獨にて容易に絲卷にまくことを得て輕便此の上もありません是非御試用を願ひます。

定價
御誂黑塗製　金六拾錢（美麗なる箱入なれば進物用に好適也）
特製　金參拾錢
上製　金廿五錢
並製　金貳拾錢

市內は一本にても御一報次第無料配達す
地方は送料金拾錢を要す

◉製造發賣元　東京赤坂區青山南町二丁目十六　竹中商店　電話芝二八八四番　振替東京三二二三

◉特約販賣御望の方は御照會あれ

流行ショール毛布マント類

神田小川町電車停留場前　中林商店　電話本局二四一九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案内

京橋區

◉院長ドクトル木村順吉
京橋丗間堀一丁目角(電話京橋一六七〇)
婦人科産科 木村病院

日本橋區

婦人科 産科 乳兒科
神田區材木町二十三二十四番地
醫學士高橋政秀
電本三七八九番

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
濱町病院 産科婦人科
院長醫學士小林八十七
醫學士大瀬貴明
醫學士佐野綱次郎

◎内科診療 午前宅診 午後往診 入院隨時
日本橋區松島町(松島稻荷前)
醫學士竹村正
電浪三七六六番

神田區

内科橋田病院(錦町三丁目電車停留場側)
●隔離室設備(診察午前 入院隨時)
院長醫學士橋田茂重
病院 神田錦町三ノ一九(電本二三三九)
自宅 牛込甲良町一一(電番一九六)

内科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診 板垣亨
電話本局貳千九百七拾番

入院診斷後應
松田、林、蜂間、三副長は目下當院に在勤
(電本)八八八(病院用) 八九八(私宅用) 東洋内科醫院
東京市神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋南
院長 醫學士高田畊安
相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里
電話ちがさき二番 南湖院
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
但院長渡歐中副長代理す

小兒科
神田區元柳原町四十番地(須田町或ハ和泉橋ヨリ約一丁)
醫學士尾形茂樹
電話本局三六三六番

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士榊田義衛
電話本局三一九〇

淺草區

内田病院
淺草區新福井町二(瓦町電車停留場際)
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士内田愼太郎
(午後診察)副院長醫學士瀧原五郎
電話(下谷七一八事務用)(下谷四八三八病室用)

●小兒科 殊に營養障害
淺草下平右衞門町十七
内山小兒科醫院(電下二參六五)
院長ドクトルメヂチーネ内山好十

本郷區

…(診察時間)…
○産科、婦人科 入院應需
月、水、金午前 橋爪病院(濱花二六〇番)(日本橋區蠣島町一の廿九)
每日二時ヶ五時迄 自宅(下谷二四八七)
本郷區眞砂町十五番地
醫學士橋爪哲造

口腔科 齒科 口腔外科 内科 産科婦人科
齒科口腔 醫學士新井千代之助
口腔外科 澁谷義雄
内科 醫學博士栗本東明
醫學士白川彌源太
産科婦人科 醫學士櫻林格造
○各科外來診察(入院隨時)
○每日自午前八時至午後三時
本郷 根津 眞泉病院
電話下谷四三九

麴町區

鷲山改姓
産科婦人科小兒科 女醫吉岡彌生
診察院長 每日八時より
時間醫員 每日三時より
病室及産室の設けあり入院隨時
東京至誠病院
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麴町區四番町四番地(電話番町貳三八四)
醫學士中山敏樹

醫學博士榊順次郎 每日午前診察
醫學士久保德太郎 日曜水曜午後 婦人科的外科
醫學士田代謹二 火木土曜日午 泌尿器病及内科
醫學士石塚保吉 水土曜日午後 小兒科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦産婦ヲ取扱フ
婦人科産科 榊病院
麴町區三番町三三(電話番町三〇三三)

赤坂區

小兒科
赤坂區溜池、榎坂町一番地
岡部環
電話芝三七九九番

小兒科
赤坂區青山南町三丁目
醫學士石塚保吉
電話芝三四七四番

腦神經精神病
東京赤坂青山病院内
帝國腦病院
院長ドクトル齊藤紀一
醫學士望月溫象
在獨逸田澤醫學士
特電芝二七四五
電芝二六六五
電芝三四〇六

芝區

◎産科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

齒科診療
每日自午前八時至午後一時(但シ十五日廿八日休診)
芝區烏森町一番地
石川齒科醫院
電話新橋一九二〇

小石川區

○婦人科○産科
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

◎産科。婦人科
◎内科。小兒科
小石川西江戸川二六
電話番町(一四二六)
森種太郎

牛込區

産科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

下谷區

産科婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長醫學士天本治(入院隨意)
(電話下谷二六六九)

四谷區

小兒科醫院
本院 四谷區西信濃町十四番地(電話番町八七四)
宅診午前中 入院應需
院長醫學士川村正治
副院長醫學士川村信一
分院 芝區西久保巴町四十五番地(電話芝二〇八六)
宅診自午後二時

府下

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人画報

十一月一日　十一月の卷　一册廿五錢　郵稅二錢　六册一圓五十錢　十二册二圓八十錢

◎新秋の美人……岡田三郎助氏筆
◎花瓶の菊 石川寅治筆 石版廿度刷表紙……二頁大三色版書畫錄
◎三皇孫殿下御舟遊 ◎流行の髪の色々 ◎三閨秀書家の傑作
◎竹田宮北白川宮兩妃殿下と永久王殿下
◎七重の瀧と閨秀書家玉枝女史◎花の如き八名家令孃 ◎茶道の會 ◎名家の家庭
◎各女學校遠足
◎二侯爵夫人のおそろひ◎赤阪御苑の菊花
◎揮毫中の三書伯◎壁畫盆景◎四名流夫人の盛裝
◎少女の蒸業と生花 ◎もみぢの庭
◎結婚式の前◎其他滿載
◎鳩山博士の棺前祭◎阿部伯邸園遊會と新宿御苑拜觀
△戀愛の善用……有賀博士
△墮落し易き地方の婦人……横井博士◎其日々々……花園
◎人好のする婦人……巖谷小波◎我家の女中……八千代
◎兩親王殿下の御事……◎下町婦人の意氣ごみ……時雨
△逆境に泣く若き婦人の爲めに……下田次郎
◎新橋女髮結評判記……田邊學士◎夜の化粧は如何にすべきか……
◎婦人のすがた……◎不親切なる琴師匠
△婦人の弱點……上杉博士◎育兒十二ヶ月……加藤博士
◎ぬけ毛の使ひ途◎婦人の一人旅木下學士◎十一月献立
◎古今の女歌人……佐々木博士◎婦人逸話◎閨秀書家評
△勇氣は男の專有物ならず……下田歌子

東京麴町區飯田町四ノ四　電話番町二三三九　振替一二一八八　東京社

於日英博覧會　賜名譽大賞牌

最上醬油

到る所の酒醬油店に販賣す

下總銚子港　釀造元　鶴屋吉兵衛

耳、鼻、咽喉科

醫學士　渡邊舒

市外淀橋町角筈新町

資本金八千八百萬圓

東京京橋區木挽町　株式會社　十五銀行　電話新橋{三一〇〇番 一五三〇番 三一九三番}

同日本橋區新乘物町　同　日本橋支店　電話浪花{一九〇一番 三三七四番 三五〇五番}

一定期預金　六ヶ月以上年四分
一當座預金　日歩五厘
一特別特別預金　同八厘

POPPŒA
高等化粧品製造所
PAPIER POUDRE, Ltd.
London, England.

英國倫敦パピーアプーヅル商會製造化粧品は日英大博覽會に於て金牌を受領せり

ポピーア、ルーズは顏色を眞正のバラ色となし擦するも剝げず如何なる柔肌にも衞生上無害にして何時御使用あるも差支なし當商會は此外ポピーア、プーヅル。ポピーア、マツリンハイジーア。ポピーア、クリーム、プープル及其他の化粧品類一手製造販賣す

日本一手販賣店橫濱山下町七拾六番C　ベーリツク兄弟商會

新學期開始目下入會の最好機會

赤堀 料理講義錄

見本規則付申込次第進呈

●好評嘖々!!家庭の一大寶典!

發行所　東京日本橋區本銀町一丁目　赤堀料理教場

京都祇園繩手　ゑり清

半ゑり　帶揚　しごき帶　帛紗　伊達巻　など

電話一九三〇

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側

御影堂　特阿彌

●東洋一製造大販賣 卸し 小賣
◎夜具蒲團類 綿 ざぶとん
●街鐵・外濠・小川町東明館前に下車を乞ふ

諸官省御用
や
神田表神保町二　矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達

●階上縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

冬物新柄大賣出し

●春着御衣裳陳列
●新題「松上鶴」に因みたる新製品數百種陳列
●藤原模樣半襟數百種陳列
●新形ショール數百種陳列
●よせ切見切反物取揃
●洋服部大發展（新歸朝裁縫師增聘 冬物服地悉皆取揃）
●寫眞部（開業後僅に一ヶ月技術精巧の御賞詞を賜る事數十）●餘興塲（日々開演仕候 少女音樂隊其他）

東京日本橋
白木屋吳服店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に内服藥の必用なる症狀に向て外用藥を用ゐ、外用藥の必用は内服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將宮は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痳毒性子宮病等に特效あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮内膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症、卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

有名なる

ハカマヤ

東京市神田區小川町影山袴專門店は從來德義を尊重し男女用御袴の專業店として普く諸賢の高評を賜はれり最も懇切にして廉價、殊に裁縫の巧妙と恰好風姿等綿密に高雅なる理想的技能を特有し益々禮節的皇國美風の發展に微力を盡しつゝあり

東京神田小川町
影山袴專門店
電話本局三八二六番

實用新案 複製形名一

ミカド火のし

●圖の如く外部には裝飾兼備の風通し穴あり以て熱度の加減を自由ならしめ僅少の炭にて長時間使用し得る實用的至便の良器なり

定價 甲 金一圓八十五錢　乙 金一圓三十五錢

實用新案 火のし臺

此火のし臺は金屬製にして御使用の節は是非必要の器具なり 甲卅錢乙十六錢

●販賣所全國到る處の金物商店にあり

日本橋通油町電浪一四六二
製造發賣元 石川商店

開闢以來の大豐作は本年也

▲此絕大無比の好期に際し理想的最良機は誕生す▲實地廣告普及の爲め一郡一名を限り破格特價販賣を開始す▲千載一遇の購入好機は今日只今

▲營業案内▼ 第十六版改正

●藁打機●藁切機●製繩機●豆粕削機●製餡機●足踏精米機●動力各種精米機●石油發動機

本店●大阪西區江戸堀橋南詰
又店●東京神田區元佐久間町
福井商會
振替 大阪九八八六 東京一三九〇五

日本橋區元町大阪町八番地

高木與兵衛

めづらしきオモチャ

敎育玩具
御進物用玩具
御用の節は

東京銀座三丁目
伊東屋玩具店
電話京橋二五二三 口座二〇四四五

ニキビ そばかす、なまず、田蟲其他吹出物一切に特効ある藤本藥學士發見最新奇藥製劑發賣す郵券二錢封入者に該病療法事無代進呈

東京市本鄕區東片町二九
振替口座東京七六二九
長田商會

目新しき飛躍讀者雲霞の如く集る

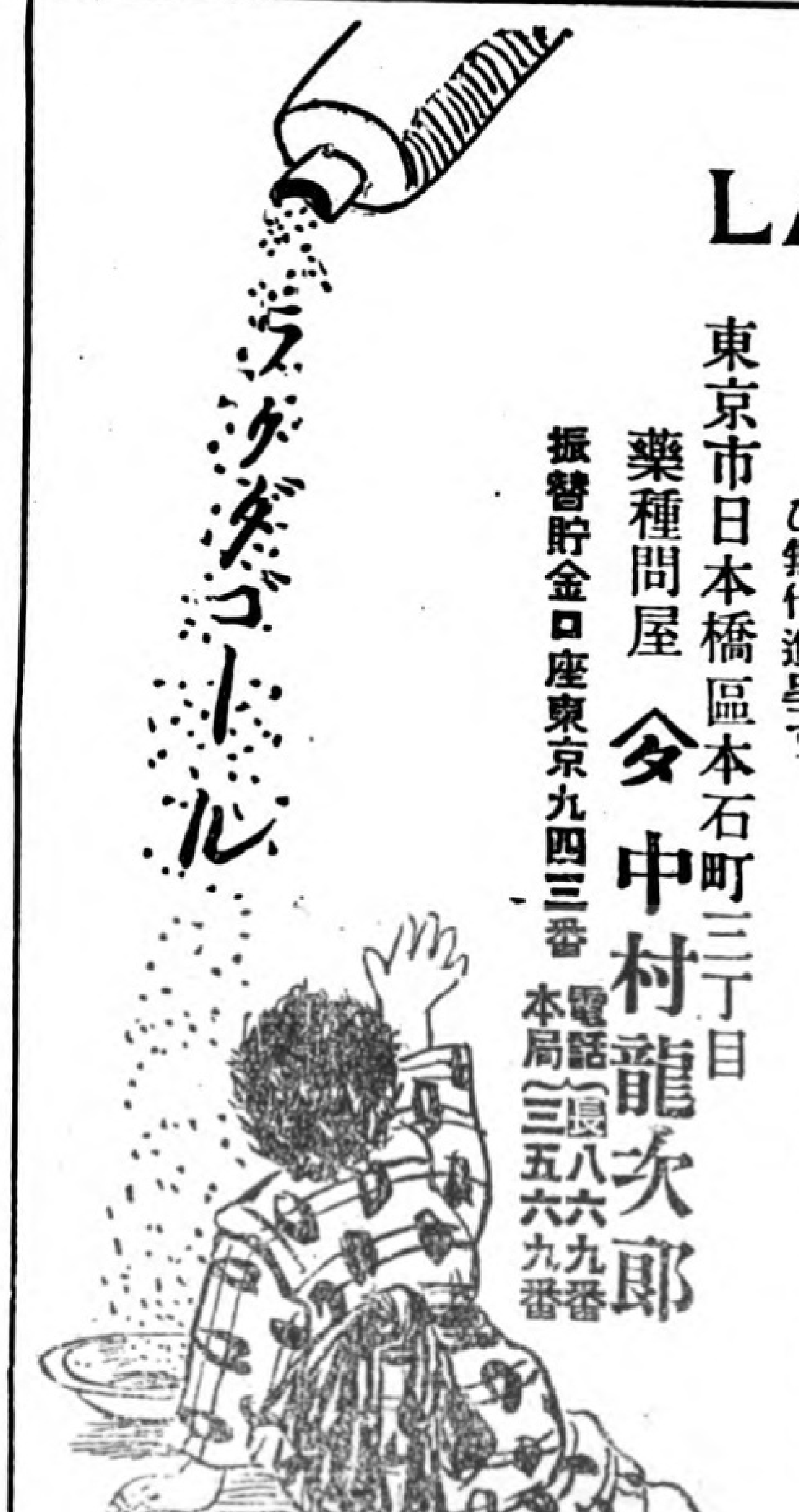
女學世界

十一月號正價貳拾錢 郵税二錢 前金一ヶ年分十六册 郵税とも 三圓十貳錢

●若夫婦の大切な務め　寺内伯爵夫人
●若きおんなの品性の修養　山脇房子女史
●冬衣の用意を上手にする妻　高橋岩次郎
▲松茸と栗の料理 ▲秋の家庭料理 ▲病中の感想
一 生活難　内藤千代子
◎良人を去らんとせし妻の手紙
◎女事務員の嬰み……ふみ子
◎妙齡の女を誘惑する蜘蛛の手
◎西洋の日常生活……中村春雨
◎職業紹介所へ行つて見た記……
◎歐米印象雜記……内ヶ崎文學士
◎工場通ひのいと辛き經驗……
▲論語百首 ▲紅葉の旅 ▲入水せし我姉
一 祇王傳　嵯峨野の露
●良人を去らんとせし妻の手紙　むらさめ
●人の働きと家庭の規律　下村宏
●手輕に出來る寫眞繪葉書　眞壁一郎

東京本町
博文館

LACTAGOL



無乳產婦の福音!

本品は「ペックマン」博士に據りて報告せられたる無臭美味毫も副作用なく蛋白質及脂肪質の多量を含有せる乳汁を分泌せしむる新藥にして本邦に於ては「ドクトル千秋雄雌郎氏」に據りて既に二十六人の產婦に試用せられ其症に據りては服用の初日に於て効能を發揮し他の場合にも七八日間連服せしむれば完全に奏効す(用法容易)「ドクトル千秋氏」の報告印刷物御要求に從ひ無代進呈す

一日用量十五瓦にして百瓦入壹函代金參圓也

東京市日本橋區本石町三丁目
藥種問屋 中村龍次郎
電話 長八六九番 本局三五六九番
振替貯金口座東京九四三番

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金は……ります、此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局に委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が便實もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替貯金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手で御註文又は御送金の節は必らず割増に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい。御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ひます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

● 橋本 **救世丸と胃腸病**

赤十字院長　橋本子爵

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず全治す、最強の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有効なり、卓絶なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

● 岩佐 **壯婦丸と婦人病**

宮内省侍醫　岩佐男爵

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣瞬動氣、逆上、腰痛、産前産後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、秘便、神經衰弱等には男女共に偉効あり

○救世丸壯婦丸は愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下を始め奉り各宮殿下の御嘉納あり又た陸軍省兩本願寺等の御用藥として我國有史以來未曾有の名譽を辱ふしたる此の一事を以て尋常一般の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證す得べし

○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參拾錢壹圓八拾錢○効能書贈呈

○本劑は本舗又は愛國婦人發行所に於て會員諸君には一割引にて御取扱申可候

本舗　東京深川公園　合資會社 **福井堂**　電話長浪花五六九番　振替東京二三六六番

皆様

今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に「暮す様」

「ゼム」を今すぐ召上れ

到る所の賣藥化粧品店にあり

別染めりんす友染
珍柄秩父めいせん
其外絹綿交織反物

東京人形町通よし町
赤のれん
おむなや本店
電浪四三四五番

向ふまへ
おむなやめりんす店

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 **森村銀行**

電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月年　五分
當座預金　百圓に付日歩　七厘
特別當座預金　同日歩　一錢一厘

實用新案特許

衛生「おしめいらず」

一號六十錢
二號五十五錢
三號五十錢
郵送料金八錢

▲此おしめいらずは裏表を白ネルにて仕立て其中をゴム引となしたるものなれば大小便の漏れたり又は浸出す事なく殊に取外し便利なる腹掛も附きおれば寢冷風邪等小兒に有勝ちの病氣を防ぐに特効あり旅行には携帶便利にして出産祝ひの御進物品として至極適當なり

新案特許出願中 **安心月帶** 一個金九十五錢

▲安心月帶はおしめいらずを別仕立になしたるものにて月經の時に之を使用せば立居に些かの粗相なく平時は圖の如く腹部のみ取外し腹巻とする便利あり夏の滯滑に腰部の衛生に注意する方に極めて必要又洗濯には分解自由輕便なり

日本橋區村松町十二番地

製造發賣元 **㋕河善商店**

（長電浪二七九三番振替口座二三九二）

特約店　上野廣小路松屋いとう呉服店　京橋區銀座二丁目　發明館

右の外全國到る處の洋物店足袋店にあり

△特約販賣希望の方は至急御申込あれ

常識的で實用向の記事多く加ふるに趣味無盡藏

婦人世界

拾壹月一日發行第六卷　第拾參號

一冊拾錢　郵税五厘　一年分壹圓五拾錢　郵税共　半年分五拾五錢　郵税共　一年分一圓二拾五錢　郵税共

▲婦人の迷ひと決斷……村井弦齋

◎無鐵砲に上京する婦人の墮落……島貫
◎新形束髪の結び方……闘ハ
◎婦人の聲と性質……伊賀田
◎教師より母親への注意……柴田環子
◎流行冬のお支度……佐々木
◎主人に畏敬された乳母……島雪子　兒玉少佐

二十餘名士の未亡人

◎私共夫婦の行へる呼吸靜坐法……池田夫人
◎我家の買物の仕方……横河下枝
◎電話交換手の裏面……うづき
◎私の娘の躾け方……まき山本夫人
◎自慢の國料理……阿部堀越
◎婦人の失敗談
◎返事する人とせぬ人……岸邊嘉悅

▲女學生と讀書……下田歌子

發行所　東京京橋南紺屋町十二番地　實業之日本社　振替貯金口座三二六三番

勅題模様半襟帶〆出來々

半えりは神田赤のまんに限る

本店　神田表神保町壹番　電話本局二八五三
出店　新橋博品館階上

齒科診療

ドクトル **大久保潛龍**

神田猿樂町一丁目二番地
電話本局二二三〇

生徒募集

東京女子齒科醫學校　神田北神保町

皮膚諸病 **梅りん病** ……どくりん病

わきが 生殖器諸病 **ぢ**

東京淺草瓦町廿八　朝八時より九時迄　**中央醫院**

皮膚諸病 **梅どくりん病** 諸病 **りん病** 消渇 **ぢ** 田蟲症等

血の道子宮病 月やくとまりたる病 **子なき婦人**

にきび **色の黒き人**

そばかすあれ 生殖器諸病 **神經衰弱症**

遺精夢精 **陰萎早漏發育不充分記憶力減衰症**

わきが

▲病状を記し郵券四錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥説明書を送る

東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場横 **中央藥院**

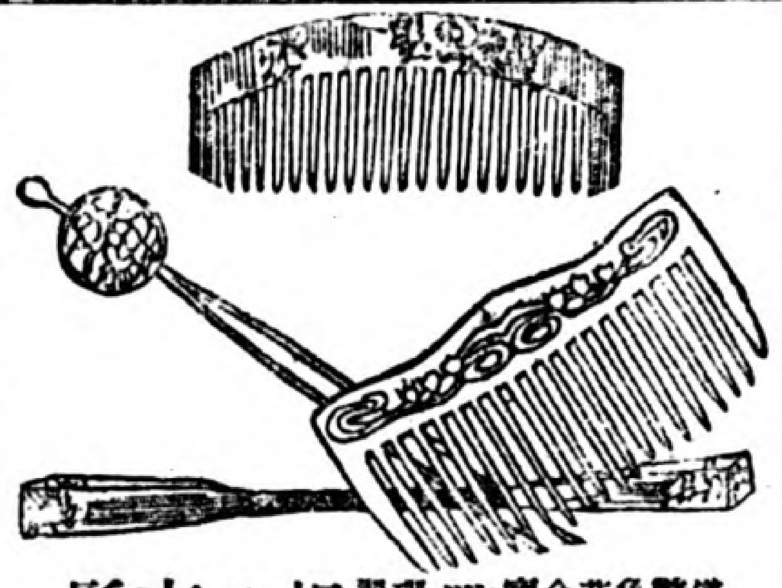
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

曩きに村井弦齋先生の賞讃を博し今又宮內省御買上の光榮を得たる

衛生に注意の男女方は彼れ是れ迷はずにみやけ油を御用ゐなさい模造品四方にあれば長髮美人商標と東京人形町みやけ油本舖製に御注意信用ある店に販賣す

長　電浪花六二〇番
振替口座東京八七五番

▲七五三御祝用箱せこ種々



儀式用櫛笄　鼈甲櫛中差　蒔繪金銀簪指輪　寶石入帶止ピン　珊瑚珠翠電玉簪　根掛　リボン　東髮三枚櫛

格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價御便利爲御持古るしの小間物引取交換仕候

東京市神田須田町（電話本局二〇七六番 振替口座二八一番）

髱小間物商 甲 **三井屋徳次郎**

京橋區新橋際 博品館内支店
神田裏神保町 東明館内支店

勅題新柄種々調製仕候

[illegible]善

（東京日本橋堺町通りふきや町電浪一一二七〇番）

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

ラローラ

BEETHAM'S

La-rola

な愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は冱寒々風硬水に堪ゆる懐皮膚を保ち凍症、ヒビ、アカラ顔アレ等を防ぐに最も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若々しくす四季を通じて用ふれば常に美しき細膚を保ち得らるべし

M. BEETHM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.

製造所　英國セルテンハム、エム、ビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

創立　明治九年
資本金　五百萬圓
積立金　參百參拾萬圓

東京市日本橋區小舟町
株式會社 **第三銀行**
電話浪花 四四二 四五一 三七七七 四五六〇

監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
營業部長　清水虎吉

特許名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理中の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり

定價（大二圓七十錢 中二圓廿錢 小一圓七十錢）

説明書及商品目錄御申越次第送呈仕候

東京日本橋區蠣殼町二ノ十 **名和商店**
電浪一一七七番
振替一〇二五四番
支店 神田和泉橋通り松永町十八

來る

十一月一日より
半襟新柄陳列會
懸賞募集半襟圖案の陳列
新形ショール陳列會

十二月一日より
膳椀茶碗食器新製品陳列會
歳暮年始贈答品賣出し
羽子板の賣出しは十日より

右の通特別盛大に開會仕候間御慰みかた〴〵御來觀下され度奉願上候。

東京駿河町
三越呉服店

最上醤油

品質優等ニシテ調理ニ適ス

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　**濱口吉右衛門**

醸造元　千葉縣銚子町　**濱口吉兵衛**

宮内省御用達

最上醤油之元祖

開業貳百六拾七年

醸造元　下総銚子町　**濱口合名會社**
振替貯金口座五〇貳號番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ばら歯磨

粉末の微妙芳香の馥郁眞に是れ衛生經濟兼備の逸品

本品の大袋入は家庭用として徳用也
鏡付罐入は旅行携帶に便なり

本舗　東京神田區九右門衛町　東光園

專賣特許

吹留眞綿製作品

衣裳中入用として使用輕便且徳用なるは吹留眞綿なり

定價　輕目　六拾八錢　並目　八拾錢　重目　九拾五錢

優美なる眞綿製作品

防寒用として肌さはり最もよきは日本國産眞綿にて製りたる當所製作品にまさるものなし

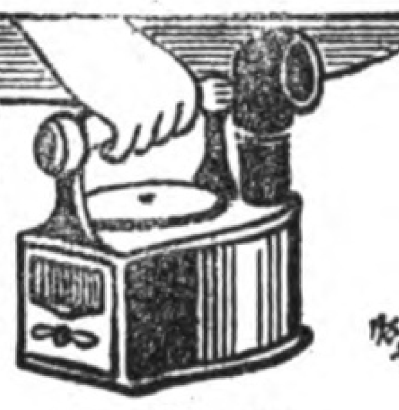
定價　薄製肌着　貳圓五拾錢　チヨツキ　壹圓五拾錢　腰卷　壹圓六拾錢

京橋銀座四丁目停留所前　大和屋綿店　電京一七七

麻布本村一九〇　吹留眞綿販賣部　電芝三五五

各地各呉服店及綿問屋にて販賣致居候

模造品所々に有之候登錄商標に御注意乞



極少しの炭火で　長時間用ひられ　和洋裁縫に　巧妙にして　使ひ心地のよきこと　たとひなし　各高等女學校裁縫科御用

全國有名なる金物店にあり　木箱入　金貳圓五拾錢

發賣元　東京淺草區茅町淺草橋際　阿部彦四郎商店　電長下一九一二・三二四八　振替口座二三六三三番

●●十一月の卷發行●●

新婦人

第一年第八號　定價一冊六錢　二冊前金十一錢　六冊郵税共壹圓八十錢　二錢五厘

於本月十二日太田金山秋季清遊會開催す

切は七日限り往復汽車賃土産福引辨當附にて會費金壹圓

申込所（神田東京堂●小石川表町田村書店●日本橋本石町至誠堂●日本橋住吉町至誠堂●淺草仲見世清水書店●日本橋通四丁目青野魁春堂●兩國開成社●銀座新橋堂●本郷盛春堂●本誌發行所）

詳細は委しく本誌上にあり

福引寄贈品山の如く個々明細に記載す

紅葉の賀　油繪極彩色（例によつて天下一品の美）……川村清雄筆

初しぐれ　石版極彩色（佳人絃を抱いて春色膝に普し綢繆自ら聲あり）……大野靜方筆

無聲の詩　芳草地に薦せる所佳人筆を甜め描き出すは果して何物●コロタイプ實寫眞

故山階宮妃殿下●伏見宮三女王殿下●津輕伯夫人●山尾子爵令嗣夫人●福原有信氏令孃●横濱西川安藏氏夫人●遠藤千枝子孃●聞秀書家野知十氏令孃●横濱石原女子●山本小圃女史●東久世伯令孃●伊勢浦田阿部春香　鶴子孃●横濱岩崎濱雄孃●藤田英次郎氏令孃●岡田重雄氏夫人●聞秀作家眞如女史●箏曲家高田喜代孃●中村富三郎氏令孃●山本良子女史●横濱遠藤稻子孃●理容館主齋藤濤子女史●池田蕉園女史他百餘圖●都廣子孃●小林幸子●星野あぐり

讀物は例の通奇拔短刀直入肺肝を劈くの氣魄あり

附錄　家庭日誌十一月分

本誌見本郵券卅錢五厘賣捌所全國書林　温度表晴雨表献立表來客簿九星舊暦附

發行所　東京市本郷區龍岡町　振替東京三〇五八番　聚精堂　電話下谷一六七二番　電話下谷四〇七九番

田口掬汀氏著

小說

第一人

誠實なる青年と近代思想に蕩揺さるゝ女性との苦痛と快感を描破す

芳烈なる藝術的興趣の中に絕大なる教訓を宿し讀者をして啓發する處あらしむ

青年子女は固より如何なる階級の人にも讀んで益多き近來の大作なり

菊判六百五十頁　實價九拾五錢　送料金八錢

發行　春陽堂　東京日本橋通　振替一六一七

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大與社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區廣告社

明治四十四年十一月一日發行（毎月二回一日、十五日）
（定價金三錢五厘一ケ月金七錢郵税不要）發行兼印刷人　山澤俊夫
（廣告料一行金六拾錢）編輯人　竹内貞三
●發行所　東京麴町區飯田町　●愛國婦人發行所　●電話番町千七百四十五番　●同五百二十番
●印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所　●振替貯金口座東京壹三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN